

saitamaken-npo.net/))により縦覧に供す 造センターにおいて備え置く方法並びに NPO情報ステーション インターネットを利用する方法 NPO活動推進課及び埼玉県中央地域創 (http://www (埼玉県

亦

埼玉県知事 上 田 清 司

報

(監査第) (運転免許課)

課

三

 $\equiv$ 

供用の開始

 $\equiv$ 

 $\equiv$ 

入

事

課

匹

九

上年和関宿線の区域の変

熊谷県

<u>±</u>

 $\equiv$ 

越

谷

1県土)

 $\equiv$ 

(本庄県土)

 $\equiv$ 

計

課

九

なお、当該申請に係る定款、役員名簿

申請に係る特定非営利活動法人の名

三 代表者の氏名 特定非営利活動法人OTOD 博之

四 主たる事務所の所在地

一 一 号 埼玉県戸田市下前二丁目八番十一—

Ŧi. 定款に記載された目的

るという精神のもと、野外コンサート じて市民等のコミュニケーションを図 いほか、教育施設や福祉施設等におけ 流れる街にするとともに、音楽を通 この法人は、 主として戸田市を音楽 三

りに寄与すること、 市を音楽を含む芸術、文化の香る街作 るコンサートの実施、 る音楽や楽器演奏の指導を行い、 併せて音楽、 教育施設におけ 戸田 <u>Ŧ</u>i.

振興を図ることを目的とする。

埼玉県告示第千三百七十一号

同条第二項の規定により公告する 非営利活動法人を設立しようとする者か 第七号)第十条第 特定非営利活動促進法(平成十年法律 次のとおり申請書が提出されたので 一項の規定により特定

設立趣旨書並びに設立当初の事業年度及 埼玉県告示第千三百七十二号

非営利活動法人を設立しようとする者か 第七号)第十条第一項の規定により特定 特定非営利活動促進法(平成十年法律

書を申請のあった日から二月間、総務部 び翌事業年度の事業計画書及び収支予算

NPO活動推進課及び埼玉県中央地域創

造センターにおいて備え置く方法並びに一 saitamaken-npo.net/)) により縦覧に供す NPO情報ステーション(http://www. インターネットを利用する方法 (埼玉県

Α

平成十八年八月八日

る

埼玉県知事 田 清 司

申請のあった年月日 平成十八年八月一日

申請に係る特定非営利活動法人の名

称

究会 特定非営利活動法人腎泌尿器腫瘍研

る

代表者の氏名

兀 中村 主たる事務所の所在地

定款に記載された目的 埼玉県戸田市本町一丁目十二番六号 \_

開催や機関紙発行など予防のための情 確立するための調査研究事業、講演会 腎泌尿器腫瘍疾患に関して、治療法を この法人は、広く一般市民を対象に 三

目的とする ができる社会の実現に寄与することを 報提供事業を行い、医療の発展により 々が健康的で快適な生活を送ること

五.

定款に記載された目的

| ら、次のとおり申請書が提出されたので、 同条第二項の規定により公告する

設立趣旨書並びに設立当初の事業年度及 saitamaken-npo.net/))により縦覧に供す NPO情報ステーション 造センターにおいて備え置く方法並びに インターネットを利用する方法 NPO活動推進課及び埼玉県中央地域創 書を申請のあった日から二月間、 び翌事業年度の事業計画書及び収支予算 なお、当該申請に係る定款、役員名簿 (http://www. (埼玉県 総務部

平成十八年八月八日

埼玉県知事 上 田 清 司

申請のあった年月日

平成十八年八月一日

称 申請に係る特定非営利活動法人の名

プロジェクト 代表者の氏名 特定非営利活動法人はとがや10

四 主たる事務所の所在地 章

メゾン辻一〇一号室 埼玉県鳩ケ谷市大字辻六十六番地の

区の生活者や中小企業等に対し、 進支援、 まちづくりの推進支援、環境経営の推 すすめることにより、経済活動の支援 参画型のコミュニティビジネス活動を この法人は、 民官の協働支援等を行い、 鳩ヶ谷市および近隣地 市民 本

> 法人の活動を通して次世代を担う人材 の発展に寄与することを目的とする。 を育てて、継続的に活動し続け、 地域

埼玉県告示第千三百七十三号

が提出されたので、 非営利活動法人から、次のとおり申請書 第七号)第二十五条第四項の規定により 準用する同法第十条第二項の規定により 定款の変更の認証を受けようとする特定 公告する。 特定非営利活動促進法 同条第五項において (平成十年法律

域創造センターにおいて備え置く方法並 予算書を申請のあった日から二月間、 www.saitamaken-npo.net/))により縦 びにインターネットを利用する方法 度及び翌事業年度の事業計画書及び収支 びに当該定款の変更の日の属する事業年 玉県NPO情報ステーション 務部NPO活動推進課及び埼玉県中央地 なお、当該申請に係る変更後の定款並 (http://

平成十八年八月八日

埼玉県知事 上 田 清

司

平成十八年八月一日 申請のあった年月日

特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人ぐりーと

代表者の氏名 教夫

兀 主たる事務所の所在地

Ŧi. 番十八—四〇七号 定款に記載された目的 埼玉県さいたま市南区辻七丁目十三

実践し障害者の福祉向上に寄与するこ にそのサービス提供の技術向上を研究 以下同じ)の社会参加を推進するため に多様な福祉サービス事業を行うと共 この法人は、障害者(高齢者を含む

#### 埼玉県告示第千三百七十四号

とを目的とする。

第七号)第十条第一項の規定により特定

特定非営利活動促進法(平成十年法律

同条第二項の規定により公告する。 非営利活動法人を設立しようとする者か 次のとおり申請書が提出されたので

saitamaken-npo.net/))により縦覧に供す 造センターにおいて備え置く方法並びに 書を申請のあった日から二月間、総務部 び翌事業年度の事業計画書及び収支予算 設立趣旨書並びに設立当初の事業年度及 NPO情報ステーション(http://www. NPO活動推進課及び埼玉県西部地域創 インターネットを利用する方法 なお、当該申請に係る定款、役員名簿 (埼玉県 5,

平成十八年八月八日

申請のあった年月日 埼玉県知事 上 田 清 司

平成十八年七月三十一日

申請に係る特定非営利活動法人の名

NPO法人 花の郷

称

三 代表者の氏名

四

定款に記載された目的 埼玉県入間市大字新久百二十七番 主たる事務所の所在地

Ŧi.

とを目的とする。 活動の支援を行い、地域と社会の福祉 障害者、精神障害者に対する地域授産 増進を図り、 広く公益に貢献するこ

# 埼玉県告示第千三百七十五号

造センターにおいて備え置く方法並びに び翌事業年度の事業計画書及び収支予算 非営利活動法人を設立しようとする者か saitamaken-npo.net/)) により縦覧に供す NPO活動推進課及び埼玉県西部地域創 書を申請のあった日から二月間、 設立趣旨書並びに設立当初の事業年度及 同条第二項の規定により公告する。 第七号)第十条第一項の規定により特定 NPO情報ステーション(http://www. インターネットを利用する方法 特定非営利活動促進法(平成十年法律 なお、当該申請に係る定款、役員名簿 次のとおり申請書が提出されたので (埼玉県 総務部

平成十八年八月八日

埼玉県知事

上. 田

清

司

saitamaken-npo.net/))により縦覧に供す

NPO情報ステーション(http://www.

る

この法人は、広く知的障害者、 身体 Ŧi. 四

埼玉県告示第千三百七十六号

造センターにおいて備え置く方法並びに 設立趣旨書並びに設立当初の事業年度及 ら、次のとおり申請書が提出されたので 非営利活動法人を設立しようとする者か NPO活動推進課及び埼玉県西部地域創 書を申請のあった日から二月間、 び翌事業年度の事業計画書及び収支予算 同条第二項の規定により公告する。 第七号)第十条第一項の規定により特定 インターネットを利用する方法 特定非営利活動促進法(平成十年法律 なお、当該申請に係る定款、役員名簿 (埼玉県 総務部

申請に係る特定非営利活動法人の名 申請のあった年月日 平成十八年七月二十八日

称

トワーク 特定非営利活動法人 場づくりネッ

代表者の氏名

埼玉県新座市栄三丁目七番七号

健康増進を通しての地域づくりを目的 た地球環境の保全と、運動支援による この法人は、 定款に記載された目的 循環型社会を基本とし

とする。 主たる事務所の所在地 誠 結

兀 埼玉県所沢市林一丁目百九十四番

Б. 進に寄与することを目的とする。 進し、もって地域社会全体の利益の増 水環境の保全と循環型社会の形成を推 した国際交流活動、特定非営利活動法 の調査、研究、啓蒙活動、本技術を通 境への影響調査、各種管渠の更正技術 て、各種地下埋設管渠の埋設状況と環 人相互の交流活動に関する事業を行い、 この法人は、地域社会の人々に対

### 埼玉県告示第千三百七十七号

ら、次のとおり申請書が提出されたので 同条第二項の規定により公告する 非営利活動法人を設立しようとする者か 第七号)第十条第一項の規定により特定 特定非営利活動促進法(平成十年法律

る

平成十八年八月 埼玉県知事 八日 上  $\mathbf{H}$ 

清 司

平成十八年八月一日 申請のあった年月日

申請に係る特定非営利活動法人の名

特定非営利活動法人 埼玉県管更正

技術協会

代表者の氏名 啓之

定款に記載された目的 主たる事務所の所在地 埼玉県告示第千三百八十号

生活保護法

(昭和二十五年法律第百四十四号)第五十四条の二

第

一項の規定によ

次の者を指定した。

る介護扶助のための介護機関として、

び翌事業年度の事業計画書及び収支予算 設立趣旨書並びに設立当初の事業年度及 造センター東松山支所において備え置く 書を申請のあった日から二月間、総務部 方法並びにインターネットを利用する方 NPO活動推進課及び埼玉県西部地域創 (http://www.saitamaken-npo.net/)) 过 なお、当該申請に係る定款、役員名簿 (埼玉県NPO情報ステーション

平成十八年八月八日

より縦覧に供する

平成十八年七月二十八日 申請のあった年月日 埼玉県知事 上 田 清 司

申請に係る特定非営利活動法人の名

代表者の氏名 特定非営利活動法人のぎく寮

喜信

兀 四番地 埼玉県比企郡吉見町大字蚊斗谷六十 主たる事務所の所在地

覧に供する。

平成十八年八月八日 埼玉県知事

上

田

清

司

//www.saitamaken-npo.net/))により縦

(埼玉県NPO情報ステーション (http:

Ŧi. 営むことができるよう、障害者自立支 定款に記載された目的 この法人は、 自立した日常生活及び社会生活を 知的障害者の人々に対

申請に係る特定非営利活動法人の名

平成十八年八月二日 申請のあった年月日 域福祉の向上に寄与することを目的と 援法に基づく共同生活援助を行い、 地

称

書を申請のあった日から二月間、

する。

四

# 埼玉県告示第千三百七十八号

書を申請のあった日から二月間、 非営利活動法人を設立しようとする者か 造センター行田支所において備え置く方 び翌事業年度の事業計画書及び収支予算 設立趣旨書並びに設立当初の事業年度及 第七号)第十条第一項の規定により特定 NPO活動推進課及び埼玉県東部地域創 同条第二項の規定により公告する。 特定非営利活動促進法 なお、当該申請に係る定款、役員名簿 次のとおり申請書が提出されたので (平成十年法律 総務部 Ŧi.

法並びにインターネットを利用する方法 埼玉県告示第千三百七十九号

第七号)第十条第一項の規定により特定 設立趣旨書並びに設立当初の事業年度及 同条第二項の規定により公告する。 ら、次のとおり申請書が提出されたので 非営利活動法人を設立しようとする者か なお、 特定非営利活動促進法(平成十年法律 当該申請に係る定款、役員名簿

代表者の氏名 特定非営利活動法人チューリップ

三 かの子

社会全体の利益の増進に寄与すること 策提言活動などの事業を行い、 くらしやすいまちづくりに関する、 ける社会の実現を図るため、障害を持 つ人々の自立支援や障害を持つ人々の つ人々が、地域で自立して生活してい この法人は、北埼玉地区の障害を持 定款に記載された目的 主たる事務所の所在地 埼玉県羽生市南五丁目十九番地 もって 政

び翌事業年度の事業計画書及び収支予算

号 saitamaken-npo.net/))により縦覧に供す 造センターにおいて備え置く方法並びに NPO活動推進課及び埼玉県北部地域創 NPO情報ステーション(http://www インターネットを利用する方法

(埼玉県

平成十八年八月八日 埼玉県知事 上 田 清

司

平成十八年八月一日 申請のあった年月日

称 申請に係る特定非営利活動法人の名

代表者の氏名 特定非営利活動法人ふれあい

を目的とする

兀 埼玉県熊谷市久保島二千百七十七番 主たる事務所の所在地 茂雄

Ŧi. その家族に対し「ふれあいと健やかな 増進に寄与することを目的とする。 せる地域社会を創造することで福祉 る生活」を提供し、誰もが豊かに暮ら この法人は、障害者(児) 定款に記載された目的 の自立と

平成十八年八月八日

埼玉県知事 上  $\mathbb{H}$ 清 司

	株式会社ヘルスケアヘルスケア西武 所沢 市小	大 生 病 院 在 宅 サ ポ ー ト 21 所 沢   所沢市小手指町四-	所沢市医師会ヘルパーステーション   所 沢 市 上	所沢市社会福祉協議会ところざわ在宅介護支援センター 所沢 市	ア イ リ ス ケ セ ン タ ー 所 沢   所沢市東住吉に	訪問看護ステーションケア・リンク 所沢市緑町二一	アリスの夢訪問看護ステーション  所沢市手指三	医療法人社団みずの会訪問看護ステーションすずらん 所沢市中新井三	緑ヶ丘訪問看護ステーション 所沢市狭	医療生協さいたま所沢訪問看護ステーション 所沢市山口三	所沢市医師会訪問看護ステーション   所 沢 市 上	訪問看護ステーションロイヤル 所 沢 市		介護老人保健施設雪見野ケアセンター 所 沢 市				介護老人保健施設さんとめ 所 沢 市			介護老人保健施設ケアステーション所沢   所沢市東狭				医療法人啓仁会所沢ロイヤル病院 所沢 市	医療法人社団秀栄会所沢第一病院 所 沢 市 下	所沢リハビリテーション病院 │ 所 沢 市	名称所
_	手指南四—三二—八	町四―四―五レーベンハイム一〇一	工安松一二二四—七	宮本町 一 — 一 — 二	所沢市東住吉八─一○煉瓦館九八ソレイユ所沢三F	所沢市緑町二−一四−一YKS新所沢ビル二○六号室	所沢市小手指町三─一一─一○メイゾン小手指壱番館地下一F	所沢市中新井三─二○スカイマンションA棟一○四号	山ヶ丘一一三〇〇九	所沢市山口三三──グランディール二○一号室	工安松一二二四——	北野二八四八		下富一一五〇一一				中富一六一七			所沢市東狭山ヶ丘六―二八二三―一三				北野二八四八	下安松一五五九——	中富一〇一六	在地
	株式会社ヘルスケア	医療法人尚寿会	社団法人所沢市医師会	社会福祉法人所沢市社会福祉協議会	株式会社ニチィ学館	メディカル・ケア・リンク有限会社	株式会社アリスの夢	医療法人社団みずの会	医療法人仁栄会	医療生協さいたま生活協同組合	社団法人所沢市医師会	医療法人啓仁会		医療法人入間川病院				医療生協さいたま生活協同組合			社会福祉法人桑の実会				医療法人啓仁会	医療法人社団秀栄会	財団法人潤和リハビリテーション振興財団	開設者名
特定福祉用具販売	介護予防福祉用具貸与	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問入浴介護	介護予防訪問看護	介護予防訪問看護	介護予防訪問看護	介護予防訪問看護	介護予防訪問看護	介護予防訪問看護	介護予防訪問看護	介護予防短期入所療養介護	介護予防通所リハビリテーション	介護予防短期入所療養介護	介護予防通所リハビリテーション	介護予防訪問リハビリテーション	訪問リハビリテーション	介護予防短期入所療養介護	介護予防通所リハビリテーション	介護予防訪問リハビリテーション	介護予防短期入所療養介護	介護予防訪問リハビリテーション	短期入所療養介護	訪問リハビリテーション	介護予防通所介護	介護予防短期入所療養介護	サービス種別名
	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月		平成十八年 四月				平成十八年 四月			平成十八年 四月				平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	指定年月
	日日	日	日日	日	日日	日日	日日	日日	日日	日日	日日	日日		日				日			日				日	日	日	日

			介護予防認知症対応型通所介護			
			介護予防通所介護			
日	四月	平成十八年	認知症対応型通所介護	社会福祉法人安心会	所沢市東狭山ヶ丘五―九二八―一	所沢やすらぎの里デイサービスセンター
日	四月	平成十八年	介護予防通所介護	社会福祉法人栄光会	所沢市北野二八五二	デイサービスセンターロイヤルの園
			特定介護予防福祉用具販売			
			特定福祉用具販売			
日日	四月	平成十八年	介護予防福祉用具貸与	有限会社フォーユー	所沢市若狭一—二九七二—一	フォーユー福祉用具貸与事業所
日	四月	平成十八年	介護予防短期入所生活介護	社会福祉法人栄光会	所沢市北野二八五二	特別養護老人ホームロイヤルの園
			特定介護予防福祉用具販売			
			特定福祉用具販売			
日日	四月	平成十八年	介護予防福祉用具貸与	川村義肢株式会社	所沢市上新井七六〇——	川村義肢株式会社東京事業所
日日	四月	平成十八年	介護予防通所リハビリテーション	医療生協さいたま生活協同組合	所沢市元町一二一八	通所リハビリ事業所所沢診療所
日	四月	平成十八年	介護予防通所介護	社会福祉法人桑の実会	所沢市松郷二六七—一	亀鶴園デイサービスセンター通所介護事業所
日日	四月	平成十八年	介護予防通所介護	社会福祉法人聖久会	所沢市坂之下九四一一三	東所沢みどりの郷通所介護事業所
日日	四月	平成十八年	介護予防訪問介護	株式会社コムスン	所沢市北秋津七三九―一二カレント所沢三号館一F	株式会社コムスン所沢ケアセンター
日日	四月	平成十八年	介護予防訪問介護	社会福祉法人栄光会	所沢市北野二八四五—三	ホームヘルパーステーションロイヤルの園
日	四月	平成十八年	介護予防訪問介護	株式会社ニチィ学館	所沢市東住吉八─一○煉瓦館九八ソレイユ所沢三F	アイリスケセンター所沢
日	四月	平成十八年	介護予防短期入所生活介護	社会福祉法人健寿会	所沢市北中二―三〇一―一	短期入所生活介護事業所健寿園
			介護予防認知症対応型通所介護			
			介護予防通所介護			
日	四月	平成十八年	認知症対応型通所介護	社会福祉法人健寿会	所沢市北中二―三〇一―一	健寿園デイサービスセンター
			特定介護予防福祉用具販売			
			特定福祉用具販売			
日	四月	平成十八年	介護予防福祉用具貸与	株式会社ふれあい広場	所沢市泉町八九七一二	株式会社ふれあい広場所沢店
日	四月	平成十八年	介護予防訪問介護	社会福祉法人健寿会	所沢市北中二―三〇一―一	健寿園ヘルパーステーション
日	四月	平成十八年	介護予防訪問介護	社会福祉法人若狭会	所沢市東狭山ヶ丘四―二六九五―一	亀令園訪問介護事業所
日	四月	平成十八年	介護予防通所介護	社会福祉法人若狭会	所沢市東狭山ヶ丘四―二六九五―一	亀令園通所介護事業所
日	四月	平成十八年	介護予防短期入所生活介護	社会福祉法人若狭会	所沢市東狭山ヶ丘四―二六九五―一	亀令園短期入所生活介護事業所
日	四月	平成十八年	介護予防通所介護	社会福祉法人向日葵会	所沢市中新井四三八	指定通所介護事業所デイサービスセンターひまわり
			特定介護予防福祉用具販売			

ウェルファー所沢店	グループホーム椿峰やすらぎケアショップ105所沢営業所	所沢介護支援サービス	源生協さいたまヘルパーステーションとみお 東 里 短 期 入 所 生 活 介護 事 業寿 里 短 期 入 所 生 活 介護 事 業	沢地域福祉事業所一まあち沢地域福祉事業所一まあち	期入所生活介護事業所所沢 活人社団和風会所沢中央病院老八ディ 所沢みどりの郷短期入所生活介護事業所桑の実へルパー では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ
所沢市 神米金五〇五―一 所沢市美原町三―二九七一―五 所沢市・安松 一八三 ― 二 六 所沢市・東原町三―二九七一―五 一 二 十 二 六 日 一 二 一 日 一 三 一 二 一 日 一 三 一 二 一 日 一 三 一 二 一 日 一 三 一 二 一 日 一 三 一 一 一 三 一 一 三 一 一 三 一 一 三 一 一 三 一 一 三 一 一 三 一 一 三 一 一 三 一 一 三 一 一 三 一 一 三 一 一 三 一 一 三 一 一 三 一 一 三 一 一 三 一 一 三 一 二 一 一 三 一 一 三 一 一 三 一 二 一 一 三 一 二 一 二	所沢市西狭山ヶ丘——二四六〇—二六	所沢市小手指町二—一三—八	ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・	ででは、ユニュー 一次市・新井   一   三四一五次市 宮本町 一	所沢市東狭山ヶ丘五―九二八―― 所沢市東狭山ヶ丘六―二八二三――二 所沢市東狭山ヶ丘六―二八二三―二 一 二 一 元 田 元 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本
株式会社ウエルファー株式会社アリスの夢株式会社アリスの夢	株式会社エヌ総合企画	有限会社カイゴー	宗生協さいたま生活協! 会 福 祉 法 人 親会 福 祉 法 人 親	然 届 上 去 人 見 田 保 会 社 ア イ リ 限 会 社 ア イ リ	福祉法人どん福祉法人どん 社 法 人 社 団
介護予防短期入所生活介護介護予防訪問介護	介護予防認知症対応型共同生活介護特定福祉用具販売特定福祉用具販売	特定介護予防福祉用具販売特定福祉用具販売	介護予防訪問介護介護予防訪問介護予防訪問介護	介護予防通所介護介護予防通所介護等防通所介護等防通所介護特定福祉用具販売特定福祉用具販売	介護予防通所介護 介護予防通所リハビリテーション 介護予防通所リハビリテーション 介護予防通所介護 介護予防通所介護
平成       平成         平成       + 八元         四月       月         月月       月	平成十八年 四月	平成十八年四月			
月月月月       一一一       日日日       日	月 月 一 一 日 日	月 一 日			

ケアサポート・ロイヤルジャパンケアサービスハッピー所沢・ヘルパーステーション	·	有限会社寿介護エス・オー・エス所沢	おひさま介護サービス所沢	しらかばヘルパーステーション久米	あさがおホットステーション	デイサービスセンター小手指	有限会社エコスタ介護サービス				アイリスケセンター狭山ヶ丘	株式会社コムスン新所沢ケアセンター	ヘルパーステーションケア・リンク	市民の森クリニック通所介護事業所	ヒューマンネットワークヘルパーステーション			デイサービスアリスの夢	通所介護事業所「福祉の森デイサービスセンター」	介護支援センターゴウパパ	シルバーネットビーデイサービスセンター	しらかばヘルパーステーション	ヘルパーステーションとこしん	所沢市立新所沢けやき通り老人デイサービスセンター	ヘルパーステーション飛鳥野の里	デイサービスセンター飛鳥野の里
所 沢 市 旭 町 七 ― 九   所沢市松葉町一七―  五ニューアーバン第一ビルニド	所沢市山口八		所沢市くすのき台三─四─六エシール所沢一○三	不   所沢市久米二一七○一五	・   所沢市東狭山ヶ丘一─六五八─一ルミエールK一○三	所沢市小手指町一一一三一二三	所沢市星の宮二―四―一七				- 所沢市狭山ヶ丘一―二九八○―四七佐野ビル一階	- 所沢市泉町一八五五─一四パールハイツ一○二号室	所沢市緑町二−一四−一YKS新所沢ビル二○六号室	△ 所沢市東狭山ヶ丘四―二六七五―一一	所沢市小手指町四─一四─七シャンプルハウス一○一			》 所沢市小手指南四——三—六	所沢市山口一八五〇—八	所沢市山口七七五—三四	- 所沢市青葉台一二七三一二六	所沢市山口五五七一二	所沢市山口三三―一グランディール二〇一号室	所沢市緑町四-二八-三五	一 所沢市神米金五○五——	工   所沢市神米金五○五——
株式会社メディカルシステムサービス株式会社ジャパンケアサービス	吉澤	有限会社寿介護エス・オー・エス	株式会社クリスタル介護センター	有限会社カツインターナショナル	株式会社あさがお	有限会社シルバーネットビー	有限会社エコスタ				株式会社ニチィ学館	株式会社コムスン	メディカル・ケア・リンク有限会社	医療法人若狭会	特定非営利活動法人ヒューマンネットワークサービス埼玉			株式会社アリスの夢	社会福祉法人桑の実会	有限会社ゴウパパ	有限会社シルバーネットビー	有限会社カツインターナショナル	医療生協さいたま生活協同組合	社会福祉法人若狭会	社会福祉法人博寿会	社会福祉法人博寿会
介護予防訪問介護 介護予防訪問介護 介護予防訪問介護	介護予防福祉用具貸与	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	特定介護予防福祉用具販売	特定福祉用具販売	介護予防福祉用具貸与	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防認知症対応型通所介護	介護予防通所介護	認知症対応型通所介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防通所介護
平成十八年 四月	-	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月				平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月			平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月
л л — — Н Н	_	_	月一日	月一日	月一日	月一日	月 一 日				月一日	月一日	月一日	月一日	月一日			月一日	月一日	月一日	月一日	月一日	月一日	月一日	月一日	月一日

ルパーステーションアリス・ョ ー ト ス テ イ し あ	ョートステイ小手指やすらイサービスセンターところの	特別養護孝所福祉の森ヘルパーステーション	デイサービスセンター赤とんぼ介 護 美 人 訪 問 介 護 事 業 所		ケアセンターそよ	<b>肯定福祉用具貸与事業所ケア・リンク</b>	指定福祉用具貸与事業所ケア・リンク	もみの木	アースサポート株式会社所沢在宅サービスセンター	デイホームにぎやか	訪問介護サービスりんでん		特定非営利活動法人てあしの会	システムケア訪問介護サービス	株式会社コムスン東所沢ケアセンター	株式会社コムスン狭山ヶ丘ケアセンター			ケアサポート・ロイヤル	よつ葉介護サポート	デイサービスセンター有限会社ヒサイズ	えくぼヘルパーステーション	グループホームえがお
沢市花園二―二四〇沢市花園二―二四〇	沢市久米一五三	所 沢 市 久 米 一 五 三 八 ― 二   所沢市山口一八六八―一ハィツブリッジ一〇二	所沢市 山口二〇〇九一二所沢市弥生町二八六七一五		上新	所尺市禄叮二─一四─一YKS新所沢ビル二〇六号室 所沢市緑町二─一四─一YKS新所沢ビル二〇六号室	所沢市緑町二−一四−一YKS新所沢ビル二○六号室	所沢市中新井二—二九六—二	所沢市松葉町一九一九	所沢市北岩岡四六三—三	所沢市東狭山ヶ丘一―六四五―一八サイトウビル二F		所沢市西狭山ヶ丘一―二四六〇―二六	所沢市坂之下四一三	所沢市東所沢和田二─一○─一八リバティ中村一F	所沢市東狭山ヶ丘――六四四―八八澤田貸事務所―F			所 沢 市 旭 町 七 ― 九	所沢市東所沢一─二○─五デンバウきのした一○五	所沢市下富一二七一—二九	所沢市上安松七二一三 (外山荘一号)	所沢市山口五二二
限会社夢くら療法人社団医凰療法人社団医凰	式会社エヌ総合企会福祉法人端午	社会福祉法人桑の実会	株式会社イチマルゴ介護美人有限会社		社メデカジ	メディカル・ケア・リンク有限会社	メディカル・ケア・リンク有限会社	特定非営利活動法人グループ野比	アースサポート株式会社	有限会社あご家	有限会社トヨタプラニング		特定非営利活動法人てあしの会	システムケア有限会社	株式会社コムスン	株式会社コムスン			株式会社メディカルシステムサービス	有限会社よつ葉介護サポート	有限会社ヒサイズ	工厶工有限会社	株式会社ウェルフェアーシステム
介護予防訪問介護介護予防短期入所生活介護介護予防通所介護	介護予防短期入所生活介護介護予防通所介護	介護予防短期入所生活介護介護予防訪問介護	介護予防通所介護	介護予防短期入所生活介護	介護予防通所介護	寺定届此用具板完特定介護予防福祉用具販売	介護予防福祉用具貸与	介護予防通所介護	介護予防訪問入浴介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問入浴介護	介護予防訪問介護	特定介護予防福祉用具販売	特定福祉用具販売	介護予防福祉用具貸与	介護予防訪問介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防認知症対応型共同生活介護
十 十 八 八 八 年 年 年	十八八年年	平成十八年	平成十八年		平成十八年		平成十八年	平成十八年	平成十八年 !!	平成十八年	平成十八年		平成十八年	平成十八年	平成十八年 !	平成十八年 !!			平成十八年 !!	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年
		四 月 一 日	四 月 月 一 日 日			七月 一日	四月  一日	四月 一日	四月 一日	四月 一日	四月 一日		四月 一日	四月 一日	四月 一日	四月 一日			四月 一日	四月 一日	四月 一日	四月 一日	四月 一日

J A 埼玉ひびきのヘルパーステーション児 玉 訪 問 介 護 ス テ ー シ ョ ン 児 玉 さ 前 角 介 護 ス テ ー シ ョ ン	むさしのデイサービスセンター本庄市児玉郡医師会立訪問看護ステーション本 庄 訪 問 看 護 ステーション	老人保健施設 本庄ナーシングホーム	東京海上日動みずたま介護ST新所沢 東京海上日動みずたま介護ST新所沢 が ん ぶ ん ぶ ん が が が が が が が が が が が が が が	ディサービスアリス・ストリートショートステイアリス・ストリート東所沢通所リハビリテーション株式会社アリスの夢ディサービスセンター『とことこ』 株式会社アリスの夢ディサービス アリス・ストリートディサービス アリス・ストリート
本 庄 市 北 堀 二 〇 四 一本庄市児玉町金屋一三〇二—一本庄市児玉町金屋一三〇二—一本庄市児玉町金屋一三〇二—一	本庄市児玉町飯倉一六六本 庄市 小島六 — 八 — 八 — 八	本庄市千代田一———二一本 庄 市 小 島 五 — 六 — 一	所沢市緑町二―七―三イマス新所沢ビル二階所沢市御幸町五―ハライフ&シニアハウス一階所沢市御幸町五―ハライフ&シニアハウス一階所沢市御幸町五―ハライフ&シニアハウス一階のボス市のでは、井、五、九、一、一 四所 沢 市 著 狭 二 一 二 四 一 五 一 一 四 が 沢 市 南 永 井 五 九 一 ― 四 所沢市御幸町五―ハライフ&シニアハウス一階の沢市御幸町五―ハライフ&シニアハウス一階のアでは、	所沢市下安松九六二―七石井ハイツ一階所沢市下安松九六二―七石井ハイツ一階所沢市緑町四―三四―二三コーポ佐倉一〇五号室所沢市手指町三―一―一のメイゾン小手指壱番館所沢市下安松八八八―― 新倉 ビル
社会福祉法人児玉福祉会社会福祉法人児玉福祉会社会福祉法人児玉福祉会	社会福祉法人武藏野福祉会社団法人本庄市児玉郡医師会医 療 法 人 中 村 会	医療法人本庄福島病院医療 法 人 福 島 会	東京海上日動ベターライフサービス株式会社 株式会社ウイズネット株式会社ウイズネット 東電パートナーズ株式会社	有限会社 夢くらぶ 有限会社 アリスの夢 だま 質利活動法人助け合い ワーカーズ たんぽぽ
介護予防認知症対応型通所介護介護予防認知症対応型通所介護介護予防短期入所生活介護介護予防訪問介護	介護予防短期入所療養介護 介護予防訪問看護 介護予防訪問看護	介護予防通所リハビリテーション介護予防通所リハビリテーション介護予防通所リハビリテーション	介護予防油所介護介護予防通所介護介護予防通所介護介護予防通所介護介護予防油所介護介護予防油所介護	介護予防通所介護 介護予防通所リハビリテーション 介護予防通所リハビリテーション 介護予防通所介護 介護予防通所介護 特定福祉用具販売 特定福祉用具販売
平 平 平 平 平 成 成 成 十 十 十 十 十 十 八 八 八 八 八 千 年 年 年 四 四 四 四 四	平 成 十 八 年 年 加 加	平 成 成 十 八 千 年 m	平 平 平 平 平 平 平 成 成 成 成 成 成 成 人 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 年 年 年 年 年 年 年 四 四 四 四	平 平 平 平 平 成 成 成 成 成 十 十 十 十 十 八 八 八 八 八 年 年 年 年 年 四 四 四 四 四 四 四
	四 四 四 月 月 月 一 一 日 日 日	四 月 一 日 日		

医療法人誠至会狭山厚生病院ポプリヘルパーステーション	ポリヘレパースモーノョプリデイサービスセンタ		在宅介護 福祉用具サービス	在宅介護本庄	短期入所施設ことぶき		グループホームやまぶき	デイサービスセンターやまぶき	まごの手	特定非営利活動法人三山の家グループホーム元気村	ひだまり介護ステーション	グループホームゆうあい本庄	シャロームヘルパーステーション	デイサービスセンター ファミリーエイド	通所介護 ことぶき	吉沢病院通所リハビリテーション	本庄デイ・サービスセンター	安誠会本庄介護サービスセンター	オレンジ訪問介護	シャローム	特別養護老人ホーム安誠園	シャロームデイサービスセンター	本庄市社会福祉協議会 ヘルパーステーション	デイサービスセンター まどか			
	庄 市 栗 崎 二		本庄市北堀一四七二一五	本庄市北堀一四七二一五	本庄市寿二一一一五		本庄市朝日町三三二四	本庄市朝日町三三二四	本庄市東台三—三—四 西	本庄市田中一〇五一一	本庄市緑二一一一六	本庄市見福三一八一九	本庄市今井一二五一—一	本庄市本庄二一五一六	本庄市寿二---五		本庄市小和瀬一六六六	庄市	本庄市東台二一六一二六	本庄市今井一二五一—一	本庄市小和瀬一六六六	本庄市今井一二四五——	本庄市銀座一一一一	本庄市小島南三———五			
医療法人誠至会狭山厚生病院	限会社 クラウザウ		有限会社 ライフプラン	有限会社 ライフプラン	医療法人(社団)寿会		ケアサプライシステムズ株式会社	テ	合資会社昭和堂	特定非営利活動法人 三山の家	有限会社すこやか	加納商事株式会社	社会福祉法人 柏樹会	有限会社 リアライズ	医療法人(社団)寿会	医療法人(社団)寿会	社会福祉法人安誠福祉会	社会福祉法人安誠福祉会	有限会社本庄児玉治療センター	社会福祉法人 柏樹会	社会福祉法人安誠福祉会	社会福祉法人 柏樹会	社会福祉法人本庄市社会福祉協議会	社会福祉法人 日の出福祉会			
介護予防短期入所療養介護介護予防討門介護	介護予防通所介護	特定介護予防福祉用具販売特定福祉用具販売	介護予防福祉用具貸与	介護予防訪問介護	介護予防短期入所生活介護	介護予防認知症対応型共同生活介護	認知症対応型共同生活介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防認知症対応型共同生活介護	介護予防訪問介護	介護予防認知症対応型共同生活介護	介護予防訪問介護	介護予防通所介護	介護予防通所介護	介護予防通所リハビリテーション	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防短期入所生活介護	介護予防短期入所生活介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防通所介護	介護予防認知症対応型共同生活介護	介護予防短期入所生活介護	介護予防通所介護
平成十八年 四月	十八年		平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月		平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月			
月 月 日 日 日			月一日	月一日	月一日		月一日	月一日	月一日	月一日	月一日	月一日	月一日	月一日	月一日	月一日	月一日	月一日	月一日	月一日	月一日	月一日	月一日	月一日			

			介護予防通所介護			
日	四月	平成十八年	認知症対応型通所介護	社会福祉法人靖和会	狭山市柏原一一八五一六	通所介護支援事業所デイサービスつつじの園
日	四月	平成十八年	介護予防通所介護	社会福祉法人至福の会	狭山市南入曽一〇四四——	むさしの園デイサービスセンター
日	四月	平成十八年	介護予防訪問介護	社会福祉法人至福の会	狭山市南入曽一〇四四——	むさしの園ホームヘルプサービス
日	四月	平成十八年	介護予防訪問介護	株式会社ふれあい広場	狭山市入間川三—四—五	株式会社ふれあい広場ヘルパーステーションスマイル狭山
日	四月	平成十八年	介護予防短期入所生活介護	社会福祉法人至福の会	狭山市南入曽一〇四四——	むさしの園ショートステイ
日	四月	平成十八年	介護予防訪問入浴介護	京浜ライフサービス株式会社	狭山市入間川 ——七—二八	クローバーケアセンター狭山
			介護予防通所リハビリテーション			
日	四月	平成十八年	通所リハビリテーション	医療法人社団圭仁会	狭山市入間川二一六一二二	通所リハビリテーションぎんなんクリニック
日	四月	平成十八年	介護予防訪問介護	医療法人前田病院	狭山市広瀬東三——四—三	医療法人前田病院ホームヘルプサービス
日	四月	平成十八年	介護予防訪問介護	医療法人財団石心会	狭山市入間川四——五—二〇	狭山病院ヘルパーステーション
日	四月	平成十八年	介護予防訪問介護	財団法人狭山ささえあい福祉公社	狭山市富士見一―一四―一一北野第二ビル	財団法人狭山ささえあい福祉公社
			特定介護予防福祉用具販売			
			特定福祉用具販売			
日日	四月	平成十八年	介護予防福祉用具貸与	株式会社ふれあい広場	狭山市入間川三—四—五	居宅介護支援事業所ふれあい広場狭山
日日	四月	平成十八年	介護予防訪問看護	狭 山 市 医 師 会	狭山市狭山台三一二四	狭山市医師会訪問看護ステーション
日	四月	平成十八年	介護予防訪問看護	医療法人安斎医院	狭山市入間川三―二―二八―五〇二	本町訪問看護ステーション
日日	四月	平成十八年	介護予防訪問看護	医療法人社団清心会	狭山市下奥富六八八——	至聖訪問看護ステーション
			介護予防訪問看護			
日	四月	平成十八年	介護予防訪問介護	医療法人入間川病院	狭山市祇園一八一三九	入間川訪問看護ステーション
日	四月	平成十八年	介護予防訪問看護	医療法人狭山中央病院	狭山市富士見二─一八─六島村コーポ一○五	狭山中央まごころ訪問看護ステーション
日	四月	平成十八年	介護予防訪問看護	医療法人財団石心会	狭山市入間川四—一五—二〇	いきいき訪問看護ステーション鵜ノ木
			介護予防訪問看護			
日	四月	平成十八年	介護予防訪問介護	医療法人尚寿会	狭山市水野三六一三	在宅サポート21狭山訪問看護ステーション
			介護予防短期入所療養介護			
日	四月	平成十八年	介護予防通所リハビリテーション	医療法人入間川病院	狭山市北入曽一四四三—七	介護老人保健施設狭山ケアセンター
			介護予防短期入所療養介護			
日	四月	平成十八年	介護予防通所リハビリテーション	医療法人社団清心会	狭山市下奥富六八八——	医療法人社団清心会 介護老人保健施設かがやき
			介護予防短期入所療養介護			
日	四月	平成十八年	介護予防通所リハビリテーション	医療法人尚寿会	狭山市水野六〇〇	医療法人尚寿会大生病院

デイサービス見晴らしの家		訪問介護事業所わ~くわっく狭山	居宅介護支援事業所ピース関	おひさま介護サービス狭山	ライフサポート優起画	短期入所生活介護さくら			デイサービスセンターさくら	ヘルパーステーションケア・リンク狭山	有限会社寿介護エス・オー・エス	デイホームわ~くわっく狭山		グループホームハピネス狭山	デイサービスハピネス狭山	至聖ホームヘルパーステーション	特別養護老人ホームオリーブ	デイサービスセンターオリーブ	さやま苑ショートステイ事業所	短期入所生活介護支援事業所ショートステイつつじの園	さやま苑ホームヘルプサービス事業所	社団法人狭山市シルバー人材センター介護保険事業所	アイリスケアセンター狭山			在宅介護支援センター21彩	さやま苑デイサービスセンター事業所	デイサービスセンターいなりやま	
狭山市入間川一七三〇——		狭山市富士見一——一—五	狭山市北入曽一五〇八―五五フラワーヒル七五―七	狭山市祇園三―二五ホープビル二〇一	狭山市入間川三―一九―一八居山ビル二〇一	狭山市加佐志一〇四			狭山市加佐志一〇四	狭山市富士見二―二二―三二サンヴェール富士見二〇一	狭山市水野六〇六―九四西武フラワーヒル五四―六	狭山市富士見一——一—五		狭山市富士見二——六—八	狭山市富士見二——六—八	狭山市下奥富六八八	狭山市上赤坂二九〇一一	狭山市上赤坂二九〇一一	狭山市柏原七五八一四	狭山市柏原一一八五一六	狭山市柏原七五八一四	狭山市新狭山—————三	狭山市富士見一―一五―三八小沢ビル一階			狭 山 市 水 野 五 九 四	狭山市柏原七五八一四	狭山市稲荷山一—一二—三	
狭山不動産株式会社		生活クラブ生活協同組合	有限会社ピース関	株式会社クリスタル介護センター	有限会社優起画	社会福祉法人入間川福祉会			社会福祉法人入間川福祉会	メディカル・ケア・リンク有限会社	有限会社寿介護エス・オー・エス	生活クラブ生活協同組合		社会福祉法人誠由会	社会福祉法人誠由会	医療法人社団清心会	社会福祉法人石心福祉会	社会福祉法人石心福祉会	社会福祉法人狭山福祉会	社会福祉法人靖和会	社会福祉法人狭山福祉会	社団法人狭山市シルバー人材センター	株式会社ニチィ学館			医療法人尚寿会	社会福祉法人狭山福祉会	社会福祉法人狭山市社会福祉協議会	
認知症対応型通所介護	介護予防訪問介護	訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防短期入所生活介護	介護予防認知症対応型通所介護	介護予防通所介護	認知症対応型通所介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防通所介護	介護予防認知症対応型共同生活介護	認知症対応型共同生活介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防短期入所生活介護	介護予防通所介護	介護予防短期入所生活介護	介護予防短期入所生活介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	特定介護予防福祉用具販売	特定福祉用具販売	介護予防福祉用具貸与	介護予防通所介護	介護予防通所介護	介護予防認知症対応型通所介護
平成十八年		平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年			平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年		平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年			平成十八年	平成十八年	平成十八年	
四月		四月	四月	四月	四月	四月			四月	四月	四月	四月		四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月			四月	四月	四月	
日		日	日	日	日	日			日	日	日	日		日	日	日	日	日	日	日	日	日	日			日	日	日	

一訪問介護センターえがお	ショートステイエンゼルの丘	グループホームまつの木苑				株式会社福祉の街北埼玉営業所	デイサービスセンターまつの木苑	エンゼルデイサービスセンター	フラワーヴィラグループホーム	フラワーヴィラ短期入所生活介護事業所	フラワーヴィラデイサービスセンター	デイサービスセンター花園	フラワーヴィラホームヘルプサービス	エンゼル訪問介護センター	株式会社エミール介護センター入浴介護事業所				介護サポート エス・エイチ・アイ	深谷整形訪問看護ステーション	深谷赤十字訪問看護ステーション	深谷市・大里郡医師会訪問看護ステーション	訪問看護ステーションねむの木		老人保健施設FOMA・なごみ	ヘルパーステーションさくら	医療法人社団永和会訪問介護ほっと・ホット	地域福祉事業所まあち狭山	
深谷市小前田二〇八二——	深谷市今泉六二五	深谷市田中九五一一				深谷市岡部二〇一六一一	深谷市田中九五一一	深谷市今泉六二五	深谷市小前田二六七七	深谷市小前田二六七七	深谷市小前田二六七七	深谷市永田一四四七一二	深谷市小前田二六七七	深谷市今泉六二五	深谷市小前田五一一				深谷市宿根一四四〇一七	深谷市宿根二四五一一	深谷市上柴町西五一八一一	深谷市新戒四一三——	深谷市武蔵野三七九七一五		深谷市新戒四一三——	狭山市加佐志一〇四	狭山市新狭山三——〇—四二	狭山市入間川一─一三─一○清陵館一○一号	
有限会社在宅福祉支援推進センター	社会福祉法人かつみ会	株式会社日本社会事業開発研究所				株式会社福祉の街	株式会社日本社会事業開発研究所	社会福祉法人かつみ会	社会福祉法人花園公益会	社会福祉法人花園公益会	社会福祉法人花園公益会	有限会社ナガシマ	社会福祉法人花園公益会	社会福祉法人かつみ会	株式会社エミール介護センター				有限会社エス・エイチ・アイ	医療法人社団勝医会	日本赤十字社埼玉県支部	社団法人深谷市・大里郡医師会	有限会社はなぞの		社団法人深谷市・大里郡医師会	社会福祉法人入間川福祉会	医療法人社団永和会	生活協同組合・さいたま高齢協	
介護予防訪問介護	介護予防短期入所生活介護	介護予防認知症対応型共同生活介護	特定介護予防福祉用具販売	特定福祉用具販売	介護予防福祉用具貸与	介護予防訪問入浴介護	介護予防通所介護	介護予防通所介護	介護予防認知症対応型共同生活介護	介護予防短期入所生活介護	介護予防通所介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問入浴介護	特定介護予防福祉用具販売	特定福祉用具販売	介護予防福祉用具貸与	福祉用具貸与	介護予防訪問看護	介護予防訪問看護	介護予防訪問看護	介護予防訪問看護	介護予防短期入所療養介護	介護予防通所リハビリテーション	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防認知症対応型通所介護
平成十八年 四	平成十八年 四	平成十八年 四				平成十八年 四	平成十八年 四	平成十八年 四	平成十八年 四	平成十八年 四	平成十八年 四	平成十八年 四	平成十八年 四	平成十八年 四	平成十八年 四				平成十八年 四	平成十八年 四	平成十八年 四	平成十八年 四	平成十八年 四		平成十八年 四	平成十八年 四	平成十八年 四	平成十八年 四	
四月	四月	四月				四月  一日	四月	四月	四月  一日	四月 一日	四月一日	四月 一日	四月一日	四月一日	四月一日				四月	四月	四月一日	四月	四月一日		四月  一日	四月	四月 一日	四月一日	

ア シ ス ト ハ ウ ス 深 谷深谷整形通所リハビリセンター有限 会社 テイクケアふ かや	有限会社ケアサービス・フォーレスト深谷地域福祉事業所デイサービスだんらん株式会社福祉の街へルパーステーション深谷	クティブケア有限会所 介 護 ひ ま わ	むさし愛光園ショートステイデイサービスセンターふじさわ苑ディサービスセンター 藤の 木 荘ディサービスセンター藤の木荘	(社島田エンタープラ	株式会社ヘルスケア ヘルスケア上武株式会社ヘルスケア ヘルスケア上武 株式会社ヘルスケア ヘルスケア上武	でしこデイサービスセンター岡
一深谷市東方町二—一五—三深谷市宿根二四五—一一二	深谷市明戸二七六一一深谷市上柴町東六—五—五	深谷市内ヶ島八二一深谷市田所町八一	深谷市大谷二四一次谷市藤野木一一七	深谷市人見二〇二八	深谷市小前田二〇八二—一五	深谷市岡三三一
有限会社アシストハウス医 療 法 人 社 団 勝 医 会有限会社テイクケアふかや	有限会社ケアサービス・フォーレスト企業組合労協センター事業団株式会社福祉の街	クティブケア	社会福祉法人日本失明者協会社 会 福 祉 法 人 邑 元 会社 会 福 祉 法 人 邑 元 会社 会 福 祉 法 人 邑 元 会	民会社島田エンタープライ会 福祉法人深谷藤沢福祉	有限会社在宅福祉支援推進センター 企業組合労協センター事業団	
介護予防認知症対応型共同生活介護予防通所リハビリテーション介護予防通所リハビリテーションのでである。	介護予防 介護予防 介護予防 介護予防 介護予防 介護予防 介護予防 介護予防 介護予防 介護予防 介護予防 介護予防 行	特定介護予防福祉用具貸与介護予防福祉用具貸与	介護予防短期入所生活介護介護予防通所介護	特定介護予防福祉用具販売 介護予防短期入所生活介護 介護予防福祉用具貸与 特定福祉用具販売	介護予防通所介護介護予防福祉用具貸与介護予防福祉用具貸与特定福祉用具販売特定企業予防福祉用具販売特定福祉用具販売	介護予防通所介護
平成十八年 四 四	平成十八年 円 四 四		平 平 成 成 十 八 八 年 年 年 年 四 四 四 四		平	•
四 月 月 一 日 日 日	四 四 四 月 月 月 一 一 一 日 日 日		四 四 四 四 四 月 月 月 月 月 一 一 一 一 日 日 日 日 日		四 月 月 一 日 日 日	_

福祉用具サポートあおぞら訪問看護ステーションコスモス	問看護ステーション上戸			介護老人保健施設コスモス苑		ハロー薬局 戸田	特定施設養護盲老人ホームひとみ園入居者生活介護事業所	ひとみ園訪問介護事業所	デイサービスセンターてまり	居宅介護支援センターてまり	グループホームひまわりの里	ケアステーションハートフレンド	在宅介護深谷	株式会社コムスン深谷ケアセンター	上柴んち	アシストハウス緑ヶ丘	みのり介護サービスステーション	深谷南地域福祉事業所デイサービスだんらん上柴	深谷南地域福祉事業所だんらん上柴	デイサービスセンター桃や	上野台デイサービスセンター	深谷ケアセンターそよ風	グループホーム「ここあ」深谷	ライフサポート城南			すてっぷ	ケアセンターさくら苑
戸田市下前一―九―三○池田ビルニF   戸 田 市 新 曽 南 三 ― 六 ― 二 三	田市上戸田二一二三一			戸田市新曽南三—六—二三		戸田市川岸二一五一一九	深谷市人見一六六五一三	深谷市人見一六六五—一二	深谷市本郷七七一二	深谷市本郷七七一二	深谷市瀬山六三一	深谷市東方町二—一五—五	深谷市上野台三〇六一一	深谷市萱場二二五―一一根岸ビル一F	深谷市上柴町東六一六一四	深谷市緑ヶ丘四一二二	深谷市櫛引一四一一一	深谷市上柴町西四—二三—八	深谷市上柴町西四—二三—八	深谷市折之口二三四一五	深谷市上野台一九六七一五	深谷市東方町四一一一一	深谷市新戒一三六七	深谷市折之口一九七七			深谷市萱場一一一三一	深谷市東方三七六八一一七
株式会社クレア	療法人社団東光			医療法人高仁会		株式会社ハローコーポレーション	社会福祉法人日本失明者協会	社会福祉法人日本失明者協会	医療法人樋口医院	医療法人樋口医院	株式会社福祉の村孝宏会	株式会社ハートフレンド	有限会社ライフプラン	株式会社コムスン	有限会社ナトーライフコンサルタント	有限会社アシストハウス	有限会社久米工業	企業組合労協センター事業団	企業組合労協センター事業団	有限会社エイミ	株式会社サポートライフ	有限会社健幸会	特定非営利活動法人やしろの里	株式会社城南硝子工業所			関口水工株式会社	有限会社システック
介護予防福祉用具貸与介護予防訪問看護	介護予防訪問看護	介護予防短期入所療養介護	介護予防通所リハビリテーション	介護予防訪問リハビリテーション	介護予防福祉用具貸与	介護予防訪問介護	介護予防特定施設入居者生活介護	介護予防訪問介護	通所介護	居宅介護支援	介護予防認知症対応型共同生活介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防認知症対応型共同生活介護	介護予防訪問介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防通所介護	介護予防通所介護	介護予防通所介護	介護予防認知症対応型共同生活介護	介護予防訪問介護	特定介護予防福祉用具販売	特定福祉用具販売	介護予防福祉用具貸与	介護予防訪問介護
平成十八年	平成十八年			平成十八年		平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年			平成十八年	平成十八年
四四月月	四月			四月		四月	五月	五月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月			四月	四月
一 日 日	日			日		日	日	日	六日	六日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日			日	日

特定非営利活動法人ユーフォリハッピークローバー戸おひさま介護サービス戸	株 式 会 社 ふ れ あ い 広 場 戸 田 店有限会社さいたま介護サービス戸田営業所	・マンライフーステーション	ヘルパーステーションあおぞ株式会社コムスン戸田公園ケアセンタ	株式会社カネット・ふれあ	デイサービスセンターもみ	松下電工エイジフリーケアメイト埼戸田市立下戸田老人デイサービスセンタ	田ほほえみの	ふ れ あ い ラ ン ド 戸アイリスケアセンター戸	社会福祉法人戸田市社会福祉協議	株式会社トーカイ戸田支	ひまわり福祉サービス株式会
ア   戸田市美女木四―一八―二三金子ビ田   戸田市新曽二二二八―六広野ビル二〇	店   戸田市本町一一二〇一一日   戸田市川岸二—五—一〇一一〇日   九 一 十 九 一		ら 戸田市下前一―九―三○池田ビル二○ 戸田市上戸田二―三五―一	ア田市川岸三   五	じ 戸田市笹目南町二〇一二	玉   戸田市笹目六十二十	郷 戸田市上戸田五 —	田 戸田市上 戸田五 ― 田田 戸田市本町一―五―五スカイビラ戸田公園一	会 戸田市川岸二一四一	店一戸田市喜沢南一一五一五	社   戸田市喜沢二—二八—
ル 特定非営利活動法人ユーフォリア八 県南福祉サービス有限会社三 株式会社クリスタル介護センター	<ul><li>株式会社ふれあい広場</li><li>一株式会社さいたま介護サービス</li></ul>	株式会社あすな	一株式会社コムスン	株式会社カネット・ふれあい	四 有限会社エム・ピー・ケアサービス	六 株式会社ケアメイトジャパン三 社会福祉法人戸田市社会福祉事業団		四 社会福祉法人戸田市社会福祉事業団ード 株式 会社 ニ チ イ 学 館	八  社会福祉法人戸田市社会福祉協議会	株式会社トーカイ	七 ひまわり福祉サービス株式会社
特定介護予防訪問介護 介護予防訪問介護 介護予防訪問介護 介護予防訪問介護	介護予防語問介護 介護予防語配用具貸与	介護予防通所介護介護予防通所介護	介護予防訪問介護介護予防訪問介護	介護予防訪問介護介護予防認知症対応型通所介護	認知症対応型通所介護特定介護予防福祉用具販売	寺 它 畐 业 目 具 反 克 介 護 予 防 福 祉 用 具 貸 与	介護予防短期入所生活介護介護予防短期定対応型通所介護	認知症対応型通所介護介護予防訪問介護	介護予防訪問介護特定介護予防福祉用具販売	介護予防訪問入浴介護 介護予防福祉用具貸与 (1)	介護予防訪問介護
平成十八年 四月	平成十八年 四月		平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月		平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月
一 一 一 日 日 日	一 一 一 日 日 日	. — — I В В	一 一	<u>一</u> 日	日	一 日	. 一 I 日	一 一	日	日	一 日

戸田市 喜 沢 南 二 一 五 一 二 三       戸田市本町二 一 〇 一 一 一 下 一 A       戸田市本町二 一 〇 一 一 一 下 一 A       戸田市本町二 一 〇 一 一 一 下 一 A       戸田市本町二 一 一 一 下 ー A       戸田市本町二 一 一 一 下 ー A       戸田市本町二 一 一 一 下 ー A       戸田市 第 次 南 二 一 五 一 一 二 五 一 二 五 一 二 五 一 一 二 五 二 二 五 二 五 二 五 二 五 二 五 二 五 二 五 二 五 二 五 二 五 二 五 二 五 二 五 二 五 二 五 二 五 二 五 五 二 五 五 二 五 五 二 五 五 二 五 五 五 二 五 五 五 五 五 二 五	戸戸戸
	田市喜沢南二―五―二三田市喜沢南二―五―二三
社 会 福 祉 法 人 ぱ る社 会 福 祉 法 人 ぱ る 福 祉 法 人 ぱ る社 会 福 祉 法 人 ぱ る社 会 福 祉 法 人 ぱ る 社 会 福 祉 法 人 ポ カケ ア ライ フ 精 会 を 療 法 人 ホ 仁 会 療 法 人 ホ 仁 会 療 法 人 ホ 仁 会 療 法 人 ホ 仁 会 療 法 人 明 晴 会 会 を 療 法 人 明 晴 会 会 会 か 一 晃 会 会 か 一 晃 会 会 か 一 晃 会 会 か か に 会 か か か に 会 か か に 会 か か か に 会 か か か に 会 か か か に 会 か か か か	社会福祉法人ぱる社会福祉法人は団愛優会
介護予防認知症対応型通所介護介護予防認問介護予防認問介護介護予防認知症対応型共同生活介護介護予防福祉用具貸与特定和強予防通所介護介護予防短期入所療養介護予防短期入所療養介護予防短期入所療養介護予防活問看護介護予防訪問看護介護予防訪問看護介護予防訪問看護介護予防訪問看護介護予防訪問看護介護予防訪問看護介護予防訪問看護	介護予防通所介護 和護予防短期入所生活介護 が護予防短期入所生活介護
平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平	平 成 十 八 年 年 年
	平 平 平 四 四 月 月

マ	株式会社コムスン入間中央ケアセンター	はらだホームヘルパーステーション	ヘルパーステーションつばさ	入間市シルバー人材センター指定訪問介護事業所		デイサービスセンターケヤ木	入間デイサービスセンター			杏花里デイサービスセンター	入間老人ホーム短期入所生活介護事業所	杏樹苑短期入所生活介護事業所	指定短期入所生活介護事業所聖愛園	指定通所介護事業所聖愛園デイサービスセンター	社会福祉法人世希泉会デイサービスセンターマナ	入間ホームヘルプ	指定訪問介護事業所アヴニール	アイリスケアセンター入間	社会福祉法人入間市社会福祉協議会指定訪問介護事業所	杏樹苑ホームヘルプサービス			ケアショップ 105 入間	杏樹苑デイサービスセンター			社会福祉法人おおぎデイサービスセンター	社会福祉法人おおぎホームヘルプサービス	ヘルパーステーション105入間
入間市宮寺四二二一一一	入間市久保稲荷二―一二一二二稲荷ビル二―B号	入間市豊岡一一五一二三	入間市狭山ヶ原三九二―一	入間市宮寺四一〇二—一七		入間市豊岡五―二―一五―二〇三	入間市小谷田一六五六一一			入間市新光一一五一五	入間市小谷田一六五六一一	入間市上藤沢八五一一一	入間市二本木一〇八三一一	入間市二本木一〇八三一一	入間市扇町屋三—五—三〇	入間市小谷田一六五六一一	入間市二本木一〇八二—一	入間市豊岡一―三―二九浅見ビル二F	入間市黒須二一三一一三	入間市上藤沢八五一一一			入間市上藤沢四四九一八	入間市上藤沢八五一一一			入間市東町四———八〇	入間市東町四———八〇	入間市上藤沢四四九一八
株式会社マコト	株式会社コムスン	医療法人東明会	特定非営利活動法人つばさの会	社団法人入間市シルバー人材センター		ゴールドライフ株式会社	社会福祉法人永仁会			社会福祉法人杏樹会	社会福祉法人永仁会	社会福祉法人杏樹会	社会福祉法人埼友会	社会福祉法人埼友会	社会福祉法人世希泉会	社会福祉法人永仁会	社会福祉法人埼友会	株式会社ニチィ学館	社会福祉法人入間市社会福祉協議会	社会福祉法人杏樹会			株式会社イチマルゴ	社会福祉法人杏樹会			社会福祉法人入間福祉会	社会福祉法人入間福祉会	株式会社イチマルゴ
介護予防福祉用具貸与	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防認知症対応型通所介護	認知症対応型通所介護	介護予防通所介護	介護予防認知症対応型通所介護	介護予防通所介護	認知症対応型通所介護	介護予防短期入所生活介護	介護予防短期入所生活介護	介護予防短期入所生活介護	介護予防通所介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	特定介護予防福祉用具販売	特定福祉用具販売	介護予防福祉用具貸与	介護予防通所介護	介護予防認知症対応型通所介護	介護予防通所介護	認知症対応型通所介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護
平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年		平成十八年	平成十八年			平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年			平成十八年	平成十八年			平成十八年	平成十八年	平成十八年
四月	四月	四月	四月	四月		四月	四月			四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月			四月	四月			四月	四月	四月
日	日日	日日	日	日		日	日			日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日			日	日日			日	日日	日

特別養護老人ホームひかり苑デイホームたんぽぽ	シニア・ハウス山吹	社会福祉法人鳩ヶ谷市社会福祉協議会	ほほえみ訪問看護ステーション	医療法人社団厚生会埼玉厚生病院		医療法人あかつき会はとがや病院	財団法人鳩ヶ谷中央病院	有限会社ひだまり	有限会社ケーテック訪問介護サービスしおん (心温)	ショートステイ入間やすらぎ	あ か ず き ん				福祉用具ハートネット	訪問介護ケアメイト	デイサービスセンターサツ木	訪問介護ハートネット	デイサービス・宅老所里の家			株式会社石田興業	扇揚苑デイサービスセンター	扇揚苑ショートスティ	おひさま介護サービス入間	有限会社ひだまり	在宅ケアてのひら		
鳩ヶ谷市坂下町四―一六―三	鳩ヶ谷市里六七七一一	鳩ヶ谷市南六一八一一六	鳩ヶ谷市里九九一―二―七一四	鳩ヶ谷市南六一五一五		鳩ヶ谷市坂下町四―一六―二六	鳩ヶ谷市桜町六―一二―五五	入間市黒須二―一四―二四フラッツ・ダップC棟	入間市豊岡四─五─一グリーンスポット一○二	入間市小谷田二一二一一八	入間市豊岡五―一―九セントラル入間二FE号室				入間市東藤沢四―一―一一須釜ビル二FA	入間市扇町屋三—一一九	入間市宮前町九一二〇	入間市東藤沢四―一―一一須釜ビル二FA	入間市仏子二八四一一〇			入間市春日町 —————四	入間市中神八五三一一	入間市中神八五三丨一	入間市豊岡一―二―二  山路ビル四階	入間市黒須二―一四―二四フラッツ・ダップC棟	入間市仏子一一五二		
社会福祉法人ゆうゆう会	有限会社大陸商事	社会福祉法人鳩ヶ谷市社会福祉協議会	有限会社KtoK	医療法人社団厚生会		医療法人あかつき会	財団法人鳩ヶ谷中央病院	有限会社ひだまり	有限会社ケーテック	株式会社エヌ総合企画	株式会社ホワイトケアコミュニティ				有限会社ハートネット	有限会社ケアメイト	ゴールドライフ株式会社	有限会社ハートネット	有限会社ピュアティー			株式会社石田興業	社会福祉法人入間福祉会	社会福祉法人入間福祉会	株式会社クリスタル介護センター	有限会社ひだまり	有限会社てのひら		
介護予防通所介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問看護	介護予防短期入所療養介護	介護予防短期入所療養介護	介護予防訪問介護	介護予防短期入所療養介護	居宅介護支援	介護予防訪問介護	介護予防短期入所生活介護	介護予防訪問介護	特定介護予防福祉用具販売	特定福祉用具販売	介護予防福祉用具貸与	福祉用具貸与	介護予防訪問介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防通所介護	特定介護予防福祉用具販売	特定福祉用具販売	介護予防福祉用具貸与	介護予防通所介護	介護予防短期入所生活介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	特定介護予防福祉用具販売	特定福祉用具販売
平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月		平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月				平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月			平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月	平成十八年 四月		
一 日	一 日	一 日	一 目	一 日		一 日	一 日	一 日	一 日 71	一 日	一 日				一 日	一 目	一 日	一 日	一 目			一 日	一 日	一 日	一 日	一 日	一 日		

1	あさか訪問介護	朝霞台中央訪問看護ステ	朝霞訪問看護スティ		医療法人わかば会介護老人保健施設つつじの郷	菊さんちの		有限会社さくらあんしん	博寿会ゆとり	福祉用具グリー		グループホー	梅さんちの家	グリーン	せらび 鳩	株式会社グリーン工房ケアステ	ケアセンター	埼玉厚生病院デイサービ	介護センターは	桜さんちの家No2	訪問介護ステーショ	グループホーム「すまさ・	株式会社コムスン鳩ヶ谷ケアセン			特別養護老人ホームベ			株式会社日本ケアト	* 別 き 記 老 ノ オ ー ム
三 一 一 九 一 二 七 株式会社日本ケアーシステム 特定保証知知() (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	業 所	ーション朝	ション朝		朝	里		サービス 鳩	の郷鳩	工房鳩		山吹	江川鳩	ア鳩	谷鳩	ーション鳩	イズ	ンター 鳩	みち鳩	んぽぽ 鳩	せんば	鳩	ター 鳩			ホーム			ステム鳩	てえいる。九
式会社日本ケアーシステム 特定福祉用具貸与 平成十八年 会福 祉 法 人 鳩 ヶ 谷 啓 和 会 介護予防温所介護 平成十八年 会福 祉 法 人 ゆ う ゆ う 会 介護予防温所介護 平成十八年 張 法 人 社 団 厚 生 会 行護予防温所介護 平成十八年 会福 祉 法 人 ゆ う ゆ う 会 介護予防温所介護 平成十八年 会福 祉 法 人 ゆ う ゆ う 会 介護予防温所介護 平成十八年 会福 祉 法 人 ゆ う ゆ う 会 介護予防温所介護 平成十八年 会 福 祉 法 人 ゆ う ゆ う 会 介護予防温所介護 平成十八年 会 福 祉 法 人 ゆ う ゆ う 会 介護予防温所介護 平成十八年 会 福 祉 法 人 ゆ う ゆ う 会 介護予防温所介護 平成十八年 会 福 祉 法 人 ゆ う ゆ う 会 介護予防通所介護 平成十八年 会社グリーン工房ケアステーション 介護予防通所介護 平成十八年 会社グリーン工房ケアステーション 介護予防通所介護 平成十八年 会社グリーン工房ケアステーション 介護予防通所介護 平成十八年 会社グリーン工房ケアステーション 介護予防通所介護 平成十八年 公会社グリーン工房ケアステーション 介護予防通所介護 平成十八年 京 法 人 地 団 武 蔵 野 会 介護予防通所介護 平成十八年 東京 法 人 也 団 武 蔵 野 会 介護予防通問看護 平成十八年 東京 法 人 社 団 武 蔵 野 会 介護予防通問看護 平成十八年 東京 十八年 東京 法 人 社 団 武 蔵 野 会 介護予防 計問看護 平成十八年 東京 十八年 東京 下 計画 東京 下 市 計画 東京 下 計画 東京 下 市 市 下 市 市 下 市 市 下 市 市 下 市 市 下 市 市 下 市 市 下 市 市 下 市 市 下 市 市 下 市 市 下 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 下 市	市本町二―四―二五T―BLD朝霞七階	市西弁財一一五一一	市溝沼六一二一		市下内間木一	谷市里一一八		谷市三ツ和一―一四―	谷市桜町六—一二—五	谷市南七一三		谷市里六七	谷市桜町五一	谷市南七一	谷市桜町六―一一―二	谷市南七一	6市里一二三九─二ヴァンベール鳩ヶ谷B号	谷市南六一五一	谷市本町一——四——	谷市桜町一一五一一	四―二七―四マンションザ佳苑一	谷市坂下町四—一六—	谷市本町三一五一一			谷市辻九五			谷市南三一一九一二	名
療子         貸与           (1) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	株式会社埼玉ライフケアサービス	療法人社団武蔵野	団法人関東厚生福祉		療法人わかば	会福祉法人ゆうゆう		有限会社さくらあんしんサービス	団法人鳩ヶ谷中央病	株式会社グリーン工房ケアステーション		限会社大陸商	会福祉法人ゆうゆう	株式会社グリーン工房ケアステーション	社日本ケアリン	株式会社グリーン工房ケアステーション	式会社ウィ	療法人社団厚生	限会社花	会福祉法人ゆうゆう	介護ステー	会福祉法人ゆうゆ	式会社コムス			会福祉法人鳩ヶ谷啓和			日本ケアー	有
	介護予防訪問介護	介護予防訪問看護	介護予防訪問看護	介護予防短期入所療養介護	介護予防通所リハビリテーション	介護予防通所介護	居宅介護支援	介護予防訪問介護	介護予防通所介護	介護予防福祉用具貸与	介護予防認知症対応型共同生活介護	認知症対応型共同生活介護	介護予防通所介護	介護予防通所介護	介護予防認知症対応型共同生活介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防認知症対応型共同生活介護	介護予防訪問介護	介護予防短期入所生活介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	特定介護予防福祉用具販売	特定福祉用具販売	介護予防福祉用具貸与	
	平成十八年	平成十八年	平成十八年		平成十八年	平成十八年		平成十八年	平成十八年	平成十八年		平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年			平成十八年			平成十八年	
	四月	四月	四月		四月	四月		四月	四月	四月		四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月			四月			四月	

社会福祉法人志木市社会福祉協議会指定訪問介護事業所		有限会社すずらんケアサポート株式会社コムスンあさかサポートセンター	医療法人わかば会デイサービスセンターふれあいの手	ヘルパーステーションひいらぎの里デイサービスセンターおせわ~く広場	ひとみケアサポート	イリスアアセンヌー明夏期入所生活介護ハレル	デイサービスセンターハレルヤ合資会社ケアサービスさくら		デイサービスセンターひいらぎの里	内間木苑短期入所生活介護事業所	内間木苑通所介護事業所	株式会社コムスン朝霞ケアセンター	ホームヘルパーステーションモーニングパーク	イリスケアセンター朝	あさか訪問入浴介護事業所
志 木 市 中 宗 岡 一 ― 三 ― 三 ○ 志 木 市 本 町 二 ― 一 ○ ― 五 ○ 志 木 市 本 町 二 ― 一 ○ ― 五 ○ 志 木 市 本 町 二 ― 一 ○ ― 五 ○		志木市館二―六―一一 三愛ナガイ薬局内朝霞市本町二―二六―三二板橋貸店舗一F	朝霞市朝志ヶ丘四―七―一三	朝霞市岡三―一七―六〇朝霞市西原一―七―一	朝霞市岡三一二六一三二章配司馬三二三章	コーリンド 五 リ エー	朝霞市併町二十六一匹七ハイツ丸山一〇一		朝霞市岡三—一七—六〇	朝霞市上内間木四九八一四	朝霞市上内間木四九八一四	朝霞市幸町三―八―一九第六サンビレッジ二〇一	朝霞市溝沼二―四―一五―二〇一	霞市本町一―八―二カーサ・モア朝霞	朝霞市岡三—一七—五三
社会福祉法人志木市社会福祉協議会社会福祉法人ルストホフ志木社会福祉法人ルストホフ志木社会福祉法人ルストホフ志木		有限会社すずらんケアサポート株 式 会 社 コ ム ス ン	療法	有限会社埼玉ライフサポート株式会社ランダルコーポレーション	有限会社ひとみケアサポート お 云 会 社 ニ ラ ィ 号 飢	式 烹 士 こ チ 亻 学会福祉法人ハレル	社会福祉法人ハレルヤ		有限会社埼玉ライフサポート	社会福祉法人長寿会	社会福祉法人長寿会	株式会社コムスン	療法人山柳		株式会社埼玉ライフケアサービス
介護予防訪問介護介護予防訪問介護介護予防超期入所生活介護介護予防訪問介護介護予防訪問介護	行護予防語間介護 介護予防福祉用具貸与 特定福祉用具販売 特定福祉用具貨与	訪問介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防短期入所生活介護	介護予防通所介護	介護予防認知症対応型通所介護介護予防。	認知症対応型通所介護	介護予防短期入所生活介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問入浴介護
平 平 平 平 成 成 成 成 十 十 十 八 八 八 年 年 年 年		平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年		平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年
四四四四四月月月月月		四四月月	四月	四四月月	四四月月月	四月 月	四匹月月	I	四月	四月	四月	四月	四月	四	四月
		日日	日	一 日 日	日日	- 一	日日	-	日	日	日	日	日	日	日

ヘルパーステーションさんわ八潮	訪問介護事業所ぽっかぽか	株式会社コムスンやしおケアセンター	デイサービスぽっかぽか	グループホームぽっかぽか	総合福祉ツクイ八潮	ヘルパーステーションやしお寿苑	ほおずき指定通所介護事業所	八潮ケアセンターそよ風	ファミリーケアケアステーション八潮	デイサービスセンターやしお寿苑	社会福祉法人八潮市社会福祉協議会指定居宅サービス事業所		やしお苑		介護老人保健施設ケアセンター八潮		医療法人福寿会埼玉回生病院				株式会社ユープラン	大樹デイサービス志木事業所	遊・志木中宗岡	有限会社あおば介護ステーション	グループホームみんなの家・志木中宗岡	ウイズネットホームヘルプサービス志木			ハートネット志木
八潮市八潮六―二―六アサツキハイツⅡ一○一	八潮市八條五〇	八潮市中央三―二〇―六シャトーレ・ヒノモト一〇一号	八潮市八條五〇	八潮市八條五○	八潮市八條一五六七第二三号棟一〇一号	八潮市八條二九四一四	八潮市緑町一一五一二	八潮市中央三———二	八潮市中央一―二一―八青木ビル一〇一	八潮市八條二九四一四	八潮市鶴ヶ曽根四一四		八潮市南川崎二一〇一一		八潮市鶴ヶ曽根一一八四―四		八潮市大原四五五				志木市幸町一―八―五四ハイツリバーアイランド一〇二号	志木市本町五―一四―二八ザ・ステイツ志木本町ユリノ木通り	志木市中宗岡一—一九—六一	志木市中宗岡四一六一三五	志木市中宗岡一一一九一五八	志木市中宗岡一—一九—六一			志木市本町一一六一六
有限会社関東機器サービス	英 和 株 式 会 社	株式会社コムスン	英 和 株 式 会 社	英 和 株 式 会 社	株式会社ックイ	社会福祉法人一寿会	有限会社綾瀬総合教育センター	株式会社メデカジャパン	株式会社ファミリーケア	社会福祉法人一寿会	社会福祉法人八潮市社会福祉協議会		社会福祉法人名栗園		医療法人社団協友会		医療法人福寿会				株式会社ユープラン	ユーアンドエルケア株式会社	株式会社ウイズネット	有限会社あおば介護ステーション	株式会社ウイズネット	株式会社ウイズネット			有限会社山口商店
訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防訪問介護	介護予防通所介護	介護予防認知症対応型共同生活介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防通所介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防短期入所生活介護	介護予防通所介護	介護予防短期入所療養介護	介護予防通所リハビリテーション	介護予防短期入所療養介護	介護予防通所リハビリテーション	特定介護予防福祉用具販売	特定福祉用具販売	介護予防福祉用具貸与	福祉用具貸与	介護予防通所介護	介護予防通所介護	介護予防訪問介護	介護予防認知症対応型共同生活介護	介護予防訪問介護	特定介護予防福祉用具販売	特定福祉用具販売	介護予防福祉用具貸与
平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年		平成十八年		平成十八年		平成十八年				平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年	平成十八年			平成十八年
四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月		四月		四月		四月				四月	四月	四月	四月	四月	四月			四月
目	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日		日		日		日				日	日	日	日	日	日			日

埼玉県告示第千三百八十二号

出の概要等について、同条第三項において準用する同法第五条第三項の規定により

大規模小売店舗立地法(平成十年法律第九十一号)第六条第一項の規定による届

公告し、及び当該届出等を次のとおり縦覧に供する。

1

大規模小売店舗の名称及び所在地

届出の概要等

平成十八年八月八日

埼玉県知事

上

田

清 司

川口市栄町三丁目九十一番地 株式会社イトーヨーカ堂川口駅前店

口 変更の概要

にあっては代表者の氏名変更 大規模小売店舗において小売業を行う者の氏名又は名称及び住所並びに法人

(変更前)

株式会社イトーヨーカ堂 代表取締役 井坂 榮

東京都千代田区二番町八番地八

東京都台東区上野一丁目二十番十一号 株式会社鈴乃屋 代表取締役 小泉清子

(変更後)

株式会社イトーヨーカ堂 代表取締役 井坂 榮

株式会社鈴乃屋 東京都千代田区 一番町八番地八 代表取締役 小泉清子

株式会社マックハウス 代表取締役 東京都台東区上野一丁目二十番十一号 栗原勝利

東京都杉並区梅里一丁目七番七号

広島県東広島市西条吉行東一丁目四番十四号 株式会社大創産業 代表取締役 矢野博文

株式会社サカエお直し総合センター 代表取締役 竹村紀久雄

さいたま市緑区芝原二丁目九番地十七

ラオックス株式会社

代表取締役

本多利範

東京都千代田区神田須田町二丁目十九番地四

古着屋 L O G 代表取締役 蓮見政司

千葉県野田市木間ヶ瀬四千六百九十二番九号

変更年月日

平成十八年六月八日

平成十八年七月二十七日 届出年月日

縦覧期間

平成十八年八月八日から平成十八年十二月八日まで

三

縦覧場所

埼玉県産業労働部地域商工業支援課

埼玉県中央産業労働センター

兀 意見書の提出

の地域の生活環境の保持のため配慮すべき事項について意見を有する者は、 大規模小売店舗立地法第八条第二項の規定により、当該大規模小売店舗の周辺

対し、 意見書の提出により、これを述べることができる。

1 意見書提出期間

平成十八年八月八日から平成十八年十二月八日まで

口 意見書提出先

埼玉県産業労働部地域商工業支援課

埼玉県告示第千三百八十三号

出の概要等について、同条第三項において準用する同法第五条第三項の規定により 大規模小売店舗立地法(平成十年法律第九十一号)第六条第二項の規定による届

平成十八年八月八日

公告し、及び当該届出等を次のとおり縦覧に供する。

埼玉県知事 上  $\coprod$ 清

司

届出の概要等

イ 大規模小売店舗の名称及び所在地

いなげや三郷戸ヶ崎店

三郷市戸ヶ崎二丁目二百四十三番五及び二百四十三番四

口 変更の概要

駐車場の自動車の出入口の数および駐車場の収容台数

(変更前) 平面駐車場 出入口A一 出 口 B 一 入口C一 入口口口

出 口 D 位置 図面省略

収容台数 届出駐車台数 百七十三台、 増設駐車台数 三十四台

二百七台

(変更後) 平面駐車場 出入口 Α 出 口 B 一 入口C一

図面省略

収容台数 届出駐車台数 百七十三台

変更年月日

平成十八年七月二十七日

届出年月日

縦覧期間 平成十八年七月二十五日

三

縦覧場所 平成十八年八月八日から平成十八年十二月八日まで

埼玉県産業労働部地域商工業支援課

埼玉県東部産業労働センター

刀 対し、意見書の提出により、これを述べることができる。 地域の生活環境の保持のため配慮すべき事項について意見を有する者は、 意見書の提出 大規模小売店舗立地法第八条第二項の規定により、当該大規模小売店舗の周辺

イ 意見書提出期間

平成十八年八月八日から平成十八年十二月八日まで

意見書提出先

口

埼玉県産業労働部地域商工業支援課

埼玉県告示第千三百八十四号 大規模小売店舗立地法(平成十年法律第九十一号)附則第五条第一項

条第三項において準用する同法第五条第三項の規定により公告し、 項において準用する場合を含む。) を次のとおり縦覧に供する。 の規定による届出の概要等について、 及び当該届出等 同法第六

平成十八年八月八日

埼玉県知事 上 田 清 司

届出の概要等

大規模小売店舗の名称及び所在地

大川ホールディングス上尾ビル

(変更前) 午前十時から午後七時

1

上尾市本町三丁目九百一番一号、 九百 一番三号、 九百三

番

号

口 変更の概要

大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻

(変更後)午前十時から翌午前二

来客が駐車場を利用することができる時間帯

駐車場①

(変更前) 午前九時三十分から午後七時三十分

(変更後) 午前九時三十分から翌午前二時三十分

駐車場②

(変更前) 午前九時三十分から午後七時三十分

(変更後) 午前九時三十分から翌午前二時三十分

駐車場③

(変更前) 午前九時三十分から午後七時三十分

午前九時三十分から午後十時

変更年月日

県に

(変更後)

平成十八年八月二十日

届出年月日

縦覧期間

平成十八年七月二十五日

平成十八年八月八日から平成十八年十二月八日まで

三 縦覧場所

埼玉県産業労働部地域商工業支援課

埼玉県中央産業労働センター

(同条第三

兀 意見書の提出

対し、意見書の提出により、 の地域の生活環境の保持のため配慮すべき事項について意見を有する者は、 大規模小売店舗立地法第八条第二項の規定により、当該大規模小売店舗の周辺 これを述べることができる。

イ 意見書提出期間

平成十八年八月八日から平成十八年十二月八日まで

口 意見書提出先

埼玉県産業労働部地域商工業支援課

都市計画法

(昭和四十三年法律第百

埼玉県告示第千三百八十七号

第五項の規定により、

鴻巣都市計画区域

及び吹上都市計画区域を一の都市計画区

その名称を鴻巣都市計画区域と

号)第五条第六項において準用する同条

定により、貸金業者の業務の停止を命じ 埼玉県告示第千三百八十五号 たので、次のとおり公告する。 十八年法律第三十二号)第三十六条の規 貸金業の規制等に関する法律

商号 埼玉県知事

平成十八年八月八日

上

田

清

司

氏名 セレクトビジネス

隆宏

 $\equiv$ さいたま市大宮区桜木町二丁目八番 主たる営業所の所在地

山下ビル四階

兀

(昭和五

埼玉県知事

保全の方針を変更した。

同法第十八条第一項の規定により、

都市計画都市計画区域の整備

登録年月日

<u>Ŧ</u>i.

業務の停止命令の年月日

六

平成十八年八月一日

七 業務停止の期間

月二十八日までの百八十日間

登録番号

第〇三八一六号

平成十八年一月十二日

る

平

·成十八年八月八日

埼玉県知事

上

田

清

司

市整備部都市計画課において縦覧に供す

なお、当該変更に係る図書を埼玉県都

平成十八年八月二 一日から平成十九年

八 業務停止の範囲

受領及び債権の保全行為は除く。) 全ての業務 (ただし、任意の弁済の

埼玉県告示第千三百八十六号

新堀土地改良区から当該役員を退任した者の氏名及び住所について、 土地改良法 (昭和二十四年法律第百九十五号) 第十八条第十六項の規定により、 次のとおり届

平成十八年八月八日

出があった。

埼

玉県知事

上

田

清

司

所

さいたま市岩槻区大字古ヶ場一二二

理 職

事 名

加

静

氏 藤

名

住

平成十八年八月八日 埼玉県知事 田

清

司

都市計画用途地域を変更した。

埼玉県告示第千三百八十八号

都市計画法(昭和四十三年法律第百 第二十一条第二項において準用する

する。

埼玉県告示第千三百八十九号

都市計画区域区分を変更した。 号)第二十一条第二項において準用する 同法第十八条第一項の規定により 都市計画法 (昭和四十三年法律第 鴻巣 百

る。 市整備部都市計画課において縦覧に供す なお、当該変更に係る図書を埼玉県都

平成十八年八月八日

司

埼玉県知事 上 田 清

埼玉県告示第千三百九十号

同法第十八条第一項の規定により 号)第二十一条第二項において準用する 都市計画法 (昭和四十三年法律第百 鴻巣

る 市整備部都市計画課において縦覧に供す なお、当該変更に係る図書を埼玉県都

平成十八年八月八日 埼玉県知事 上.

田

清

司

字永久保元上南畑分の一部

開発及び 埼玉県告示第千三百九十一号

号)第二十一条第二項において準用する 都市計画道路を変更した。 同法第十八条第一項の規定により、 都市計画法 (昭和四十三年法律第百 鴻巣

市整備部都市計画課において縦覧に供す なお、 当該変更に係る図書を埼玉県都

平成十八年八月八日

埼玉県知事 上 田 清 司

埼玉県告示第千三百九十二号

百十九号)第三十九条第一項の規定によ 認可したので、 り土地区画整理組合の事業計画の変更を 土地区画整理法(昭和二十九年法律第 次のとおり公告する。

平成十八年八月八日

埼玉県知事 上 田 清 司

組合の名称

事業施行期間 三芳町北松原土地区画整理組合

施行地区 平成二十四年三月三十一日まで 平成三年四月三十日から

字浅間後元上南畑分の一部、 分の全部、字上荒久元上南畑分の 元上南畑分の一部、字北松原元上南畑 三芳町大字藤久保字富士塚の一部 字富士塚

四 事務所の所在 人間郡三芳町大字藤久保三八五 番

Ŧi. 六 平成三年四月三十日 変更認可の年月日 設立認可の年月日

平成十八年八月八日

#### 埼玉県告示第千三百九十三号

市整備部公園課において縦覧に供する。 都市計画公園を次のとおり変更した。 同法第十八条第一項の規定により、 都市計画法 なお、当該変更に係る図書を埼玉県都 第二十一条第二項において準用する (昭和四十三年法律第 鴻巣 百

平成十八年八月八日 都市計画を定める土地の区域 埼玉県知事 上 田 清 司

字外谷及び字中通並びに笠原字二貫野 耕地並びに西中曽根字砂場、字大下、 前並びに常光字上手地内 埼玉県鴻巣市上谷字砂場及び字外谷

都市計画に係る公園の名称 五・五・〇一号 上谷総合公園

### 埼玉県告示第千三百九十四号

都市計画公園を次のとおり変更した。 号)第二十一条第二項において準用する 同法第十八条第一項の規定により、鴻巣 都市計画法 (昭和四十三年法律第百

市整備部公園課において縦覧に供する。 なお、当該変更に係る図書を埼玉県都

平成十八年八月八日

都市計画を定める土地の区域 埼玉県知事 田 清 司

三反田地内 番並びに屈巣字網張、 埼玉県鴻巣市関新田字十番及び字十 字舟入及び字

都市計画に係る公園の名称 五・五・〇二号 Ш 里中央公園

#### 埼玉県告示第千三百九十五号

号 都市計画緑地を次のとおり変更した。 同法第十八条第一項の規定により、 鴻巣市役所において縦覧に供する。 市整備部公園課、北本県土整備事務所 なお、当該変更に係る図書を埼玉県都 都市計画法(昭和四十三年法律第百 第二十一条第二項において準用する 平成十八年八月八日 鴻巣

都市計画を定める土地の区域 鴻巣市川面字飛田、 埼玉県知事 字前谷、 田 清 字八幡 司

並びに袋字前屋敷、

字東谷及び字中地

都市計画 第 号 さきたま緑道 に係る緑地の名称

#### 埼玉県告示第千三百九十六号

都市計画法 (昭和四十三年法律第百

画 号)第二十一条第二項の規定において準 用する同法第十八条第一項の規定により 次のとおり、熊谷都市計画、行田都市計 川都市計画下水道を変更した。 なお、当該変更に係る図書の写しを埼 鴻巣都市計画、 北本都市計画及び桶

玉県都市整備部下水道課において縦覧に 供する。

平成十八年八月八日

都市計画の種類及び名称 埼玉県知事 田 清

司

計画荒川左岸北部流域下水道 都市計画、 都市計画を変更する土地の区域 熊谷都市計画、 北本都市計画及び桶川都市 行田都市計画、 鴻巣

イ 追加する部分

口 削除する部分

なし

#### 埼玉県告示第千三百九十七号

都市計画法 更に係る図書の写しの送付を受けたので 第二十条第二項の規定により 第二十一条第二項において準用する同法 13 写しを埼玉県都市整備部下水道課にお て縦覧に供する。 秩父市長から秩父都市計画下水道の変 (昭和四十三年法律第百号) 当該図書

平成十八年八月八日

埼玉県知事 Ŀ. 田 清

司

#### 埼玉県告示第千三百九十八号

より、指定した土地の区域を変更したの 条例第六十一号)第四条第四項の規定に の基準に関する条例(平成十三年埼玉県 埼玉県都市計画法に基づく開発許可等 次のとおり告示する。

当する課において縦覧に供する。 基づく開発行為等の規制に係る事務を担 は、 備事務所及び当該市町村の都市計画法に なお、変更した土地の区域を示す図面 当該市町村の区域を所管する県土整 平成十八年八月八日

変更した土地の区域

埼玉県知事

上

田

清 司

	大利根町	市町村
井新田の一部	大字間口の一部及び大字新	土地の区域

#### 変更した日

平成十八年八月八日

#### 埼玉県告示第千三百九十九号

条例第六十一号) 第六条第一項第一号の の基準に関する条例(平成十三年埼玉県 地の区域を指定したので、 規定により、予定建築物の用途を限り土 示する。 埼玉県都市計画法に基づく開発許可等 次のとおり告

なお、 指定した土地の区域を示す図面

当する課において縦覧に供する。 備事務所及び当該市町村の都市計画法に 基づく開発行為等の規制に係る事務を担 地の区域 大利根 町 市町村 当該市町村の区域を所管する県土整 予定建築物の用途を限り指定した土 平成十八年八月八日 埼玉県知事 部及び大字新 井新田の一部 大字間口の 土地の区域 上 のうち、 び事務所、 場、倉庫及 分類 属する事務 ロの分類に に属する工 のイの分類 おいて、次 省編集) 外の建築物 建築物) 以 はならない に建築して 別表第二ぬ とする。た 本標準産業 工業地域内 項に掲げる  $\mathbb{H}$ 建築物(準 建築基準法 物の用途 予定建築 (店舗併 (総務 清 に 日 司

> 86「自動車 うち中分類 分類されな 情報通信業 同F―製造 るものとす 等は含まれ を営む工場 の溶融又は 整備業 いもの)の 口、大分類 精錬の事業 ス業(他に Q-サービ 同H 大分類 -建設業

平成十八年八月八日 指定した日

 $^{\circ}$ 

落札金額

#### 埼玉県告示第千四百号

のうち用途地域の指定のない区域内の建 に欄五の項の規定により、都市計画区域 第五十六条第一項第二号ニ及び別表第三 築物に係る数値を変更する 一項第三号、第五十三条第一項第六号、 号)第五十二条第一項第六号、 建築基準法 (昭和二十五年法律第二百 同条第

市整備部建築指導課において縦覧に供す なお、当該変更に係る図書を埼玉県都

だし、金属

る

鴻巣市の区域内の都市計画区域のうち

用途地域の指定のない区域

平成十八年八月八日

#### 埼玉県告示第千四百一号

WTOに基づく政府調達に関する協定の適用を受ける調達について、落札者を決

平成十八年八月八日

購入等件名及び数量

埼玉県知事

上 田

清 司

別表のとおり

2

埼玉県警察本部総務部会計課調度第一係 埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目 契約に関する事務を担当する部局の名称及び所在地

15番1号

ယ 落札者を決定した日 平成18年6月19日

落札者の氏名及び住所

4

別表のとおり

契約の相手方を決定した手続 ·般競争人札

6

別表のとおり

入札の公告又は公示を行った日

~

平成18年5月9日

定したので、次のとおり公示する。

埼玉県知事 上 田 清

変更に係る区域

司

	(/ ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- IX					1757	
号 七 埼 ) 都 号 玉			及区場で							型 表
第市場	新 旧	旧新別	場のとなる。		4	3	2	1	整理番号	#
号)第三十六条第三項の規定により、次都市計画法(昭和四十三年法律第百七号 七号	八日市字寺西一〇番一地先まで「児玉郡神川町大字八日市字寺西九番一地先から同郡同町大字」	別	及び埼玉県本庄県土整備事務所において一般の縦覧に供する。その関係図面は、平成十八年八月八日から三十日間埼玉県県土整備部道路環境課区域を次のように変更する。  道路法(昭和二十七年法律第百八十号)第十八条第一項の規定に基づき、道路の埼玉県本庄県土整備事務所長告示第十六号		男性警察官用短靴 7,009足	男性警察官用冬ズボン 3,889着	男性警察官用合ズボン 4, 477著	男性警察官用合ワイシャツ 6,243著	購入等件名及び数量	
	光まで地上		十六号 十六号 (八日から三十) (八日から三十)		5,712円	8,664円	8,400円	5,633円	落札金額 (税抜き 1 着当 たりの単価)	
	先から同郡同町大字	間	て一般の縦覧に供する。日から三十日間埼玉県県土整備号)第十八条第一項の規定に基六号		ハルタ製靴株式会社 東京都足立区千住宮元町8	赤城衣料工業株式会社 東京都江東区北砂1丁目	ミスズユニム株式会社 東京都台東区蔵前4丁目	株式会社丸広百貨店 埼玉県川越市新富町2丁	落札者の氏名及び住所	
事務所長	一四· 五○○ 九三· 六五 九三· 九二· 九	(メートル敷地の幅	部道路環境課   二		8番8号	13番4号	10番8号	目 6 番地 1	%住所	
*************************************	九の方五四九・四の	員   延     し   メートル)	二 道路の区域 二百五十四号 路線 名 二百五十四号 道路の種類 国道 場							
○○七○号   三 開発区域に含まれる地域の名称日 熊整第○八一八○○一三号		備	四号 埼玉県本庄県土整備事務所長 鈴 木 信 司							

うに道路の供用を開始する。 埼玉県越谷県土整備事務所長告示第二十九号 及び埼玉県越谷県土整備事務所において一 区域を次のように変更する。 埼玉県越谷県土整備事務所長告示第二十八号 九番一号 その関係図面は、平成十八年八月八日から三十日間埼玉県県土整備部道路環境課 道路法(昭和二十七年法律第百八十号)第十八条第二項の規定に基づき、次のよ その関係図面は、平成十八年八月八日から三十日間埼玉県県土整備部道路環境課 道路法(昭和二十七年法律第百八十号)第十八条第一項の規定に基づき、 松 路 旧 大里郡江南町大字成沢字入郷百二十 伏 新別 新 旧 庄 和 線 同市永沼字宮下二一八三番一地先まで 春日部市永沼字宮下二二一八番三地先から 関 宿 線 名 X 同市永沼字宮下二一八三番一地先まで 春日部市永沼字宮下二二一八番三地先から 供 用 般の縦覧に供する。 兀 開 開発許可を受けた者の住所及び氏名 | 番十一号 東京都練馬区石神井町二丁目二十六 始 0) 間 区 七:二五~ 七:二五~ 敷 間 X 地 道路の 1 0) ŀ 二 <u>二</u> 五 0.00 幅 平成十八年八月八日 ル 供 及び埼玉県越谷県土整備事務所において一般の縦覧に供する。 員 用 平成十八年八月八日 路 道路の区域 道路の種類 平成十八年八月八日 開 建設株式会社 延 線 始 X 0) 1 名 | 二六・〇〇 期 ŀ 県道 日 松伏庄和関宿線 ル 代表取締役 シ 長 埼玉県越谷県土整備事務所長 埼玉県越谷県土整備事務所長 備 備 小泉 内 内 村 村 考 考

寬

寬

# 埼玉県越谷県土整備事務所長告示第三十号

うに道路の供用を開始する。 道路法(昭和二十七年法律第百八十号)第十八条第二項の規定に基づき、次のよ

その関係図面は、平成十八年八月八日から三十日間埼玉県県土整備部道路環境課

及び埼玉県越谷県土整備事務所において一般の縦覧に供する。 平成十八年八月八日

埼玉県越谷県土整備事務所長

内

村

寬

平	路
方 東 京	線
線	名
同市大字大松字前一四一系越谷市大字大松字前一四二	供用開
番一地先地	始
ルまで 地先から	Ø
	区
	間
平成十八年八月八日	供用開始の期日
延長 一〇三・〇〇メートル 一部供用開始である 一部供用開始である	備考

# 埼玉県公安委員会告示第153号

導員審査」という。)を次のとおり実施するので、技能検定員審査等に関する規則 関する技能及び知識の教習に関する技能及び知識に関して行う審査(以下「教習指 員審査」という。)並びに法第99条の3第4項第1号イに規定する自動車の運転に 号イに規定する技能検定に関する技能及び知識に関して行う審査(以下「技能検定 (平成6年国家公安委員会規則第3号)第2条及び第10条第2項の規定により公示 道路交通法(昭和35年法律第105号。以下「法」という。)第99条の2第4項第1

平成18年8月8日

埼玉県公安委員会委員長 奥 哩 \* 康

#### 審査の種類

- 技能検定員審査
- 大型自動車免許に係る技能検定員審査
- 普通自動車免許に係る技能検定員審査
- 大型特殊自動車免許に係る技能検定員審査

J

- 大型自動二輪車免許に係る技能検定員審査
- 普通自動二輪車免許に係る技能検定員審査
- 牽引免許に係る技能検定員審査
- 大型自動車第二種免許に係る技能検定員審査
- 普通自動車第二種免許に係る技能検定員審査
- 2 教習指導員審査

- 大型自動車免許に係る教習指導員審査
- 普通自動車免許に係る教習指導員審査
- ひ 大型特殊自動車免許に係る教習指導員審査
- 大型自動二輪車免許に係る教習指導員審査
- 4 普通自動二輪車免許に係る教習指導員審査
- K 牽引免許に係る教習指導員審査
- 大型自動車第二種免許に係る教習指導員審査
- 普通自動車第二種免許に係る教習指導員審査
- 期日及び場所

2

- 1 期日
- 論文審査日

平成18年9月12日 (火) 及び9月13日 (水)

技能審査日

平成18年10月7日  $(\pm)$ 、10月10日(火)、10月11日(水)、10月12日(木)

及び10月13日 面接審査日 平成18年10月7日(土)、10月17日(火)、10月18日(水)及び10月19日(木) (金)

(2)

埼玉県警察本部交通部運転免許センタ 埼玉県鴻巣市鴻巣405番地 4

論文及び面接 運転免許センター 4 階会議室 埼玉県監査委員告示第15号

地方自治法(昭和22年法律第67号)第199条第12項の規定に基づき、埼玉県知事及び埼玉県教育委員会から監査の結果により措置を講じた旨の通知があったので、

ယ 申請期間及び場所

技能

運転免許センター内コース及び路上

申請期間

日曜日は除く。) 平成18年8月8日 (火) から8月22日 (火) までの間 (ただし、土曜日及び

2 揚所

埼玉県警察本部交通部運転免許センター運転免許課教習所係 埼玉県鴻巣市鴻巣405番地4 電話 048 (543) 2001 内線241

申請要領

するとともに、受けようとする審査に用いられる自動車を運転することができる 免許に係る運転免許証を提示すること。 技能検定員審査又は教習指導員審査を受けようとする者は、審査申請書を提出

なお、審査細目の免除を希望する者は、それに該当する者であることを証明す

るものを添付して申請すること。

- 審査項目
- (1) 技能検定員審査
- 技能検定に関する技能

技能検定に関する知識

教習指導員審査

2

- 教習に関する技能

6

審査手数料 教習に関する知識

審査手数料については、埼玉県収入証紙により納付すること

ンター運転免許課教習所係に照会すること。 その街 申請要領、内容、 手続等の詳細については、埼玉県警察本部交通部運転免許セ

埼玉県監査委員 埼玉県監査委員 春 拔 Ш  $\forall$ 溪 营 氲

埼玉県監査委員

強し、 禹

#

#

埼玉県監査委員

平成18年8月8日

のとおり公表する。

#### 監査の結果「指摘」 とした事項

正に行うことにした。また、収入未済額の圧縮に	ものが少なからずあった。また、納税担当			
るとともに、法に基づく滞納処分の執行停止を適	止を行わず、5年の消滅時効を事由とする			
調査と納税折衝を徹底し滞納繰越額の圧縮に努め	うち、地方税法に基づく滞納処分の執行停			
1 状況改善のため、自動車税滞納整理については、	1 自動車税滞納繰越額に係る不納欠損額の 1	平成18年 6 月30日(第1786号)	自動車税事務所	総務部
講じた措置	監査の結果	監査結果の公表年月日(県報の号数)	象 機 関	対

汝

事務が遅滞することのないよう適正な処理を行うこ	概算払いをした補助金の確定が大幅に遅れて			
, かる進行管理台帳を整備してチェック体制を強化し、	別養護老人ホーム整備促進事業費」において、		センター	
再発防止のため、老人福祉施設整備費補助金にか	平成16年度の補助対象事業が完了した「特	平成18年3月3日 (第1752号)	比企福祉保健総合	保健医療部
	られた。			
処理の徹底を図った。	への記載漏れなど、記載不備が少なからず見			
による定期的な検査を義務づけるなど、適正な事務	届出受理台帳における受理書等の発送年月日			
後直ちに、記載漏れを是正した。グループリーダー	の新築」届出の記載漏れ及びばい煙発生施設		所	
各種台帳への記載事務については、注意	自然公園内行為届出台帳における「工作物	平成18年 6 月30日(第1786号)	中央環境管理事務	環境部
契約事務の適正化を図った。				
チェックを行うなど事務処理体制の見直しを行い、	ず、1者のみであった。			
定の再確認を徹底するとともに、複数の職員による	の見積書の徴取が必要であったにもかかわら			
再発防止のため、埼玉県財務規則等の財務関連規	水銀灯撤去契約において、複数の相手から	平成18年 6 月30日(第1786号)	自動車税事務所	総務部
講じた措置	昭 査 の 結 果	監査結果の公表年月日(県報の号数)	機関	対象
理を行うこととした。	由があり、この不納欠損処分は誤りであった。			
	4			
オペー語には一般を表現している。 おいき はいき はいき はいき はいき はいき はいき はいき はいき はいき は	世屋子春甘木をボン 「キー・キング・リザー			
を復活させた。	成17年度に2名4件、それぞれ不納欠損処分			
ついては、不納欠損処分の取り消し等を行い、債権	の経過を理由に、平成16年度に1名1件、平		センター	
平成16、17年度に不適切に行った不納欠損処分に	生活保護費返還金について、消滅時効期間	平成18年3月3日 (第1752号)	児玉福祉保健総合	保健医療部
	ン た。			
	平成17年12月の時点で交換を行っていなか			
. の見直しも行った。	棟機械室の感知器交換を指摘されていたが、			
止のため、複数の職員によるチェックを行うなど	2 平成17年6月の防火設備点検の結果、別			
成18年1月26日に交換を完了した。また、再発防	が不十分であった。			
2 監査日以降、直ちに感知器の交換を発注し、平	(証紙徴収分を含む)の圧縮に向けた取組			
っている。	自動車税及び自動車取得税の収入未済額			
数値目標を設定するなど、より積極的な取組を行	は県税事務所と比較して低い水準にあり、			
向け、納税折衝を強化し、差押え件数等の具体的	職員一人当たりの納税折衝実績や差押件数			
選 ご れ 指 直	照角の結果	監査結果の公表年月日(県報の号数)	機	拉線

監査受検以降、入札保証金の免除については、埼玉県公営企業財務規程で定める免除要件に該当するか否かを、同運用通知に基づき検査完了通知書若しくは履行証明書等によって厳格に確認した上で行っており、免除要件に該当しない者についてはすべて入札保証金を納付させている。	送水管路弁類分解補修工事における入札実施に当たり、入札保証金免除要件の確認事務を怠たり、入札保証金を免除していた。	平成18年 6 月30日(第1786号)	吉見浄水場	会 樂 同
産業廃棄物の処理委託にあたっては、収集運搬と処分に関し適正な委託契約を締結し、事務の見直しを行った。	産業廃棄物の処理を委託するにあたっては、 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令に 基づき契約書を作成して行わなければならな いとされている。 しかし、廃棄物の処理にあたって、契約書 を作成することなく処理業者に委託していた。	平成18年3月3日(第1752号)	部飯能県土整備事務所	県土 整 備 第
不用薬品処理を依頼した廃棄物処理運搬業者並びに特別管理廃棄物処理業者について、監査受検後、会社のホームページで許可業者であることを確認するとともに、FAX等により許可書を取寄せ、許可業者であることを確認した。 今後、適正な財務事務の執行に努めるよう、職員に周知徹底を図った。	不用薬品処理の業務委託においては、委託 業者が廃棄物処理法に基づく特別管理廃棄物 許可業者であることが必要であるが、その確 認がされていなかった。 住宅地図の購入に当たり、複数の相手から の見積書徴取を要しない10万円未満の金額に 分割して、契約を締結していた。	平成18年 6 月30日(第1786号)	中央家畜保健衛生 所 農村整備計画セン ター	要本件
債権管理事務についてチェック体制の強化を図る 見直しを行い、債権の回収については催告を行うと ともに、その記録を確実に行い、適切な事務処理を 行うこととした。 (現川口保健所)	公衆衛生負担金にかかる未収債権管理において、平成15年度以前の未収債権22件の催告等の実施記録がなく、滞納整理に向けた取り組みの確認ができなかった。	平成18年3月3日(第1752号)	戸田・蕨保健所	
講 じ た 措 置 債権管理事務についてチェック体制の強化を図る 見直しを行い、債権の回収については催告・臨宅を 行うとともに、その実施記録を残すなど適切な事務 処理を行うこととした。	監査の結果 生活保護費返還金において、催告等の実施記録がないなど、債権管理が不十分なものがあった。特に、消滅時効期限までの期間が残り少ない債権について、催告や所要の措置が執られていなかった。	監査結果の公表年月日(県報の号数)平成18年3月3日(第1752号)	象     機     関       部     北埼玉福祉保健総 合センター	宋 健 医 療 密

校後援会長が行政財産使用許可を受けている。 しかし、実際に販売を行っているのは別の者 C・・・
生徒及び職員へのパン等の販売場所を、同
室換気扇取り替え修繕工事を もなく分割して発注していた。
高圧線及び高圧防護改修修繕工事と受変電
٥
給水管修繕工事において、いなかった。
なく分割して、別々の業者へ発注していた。
階段)清掃とトイレ清掃を、
清掃業務において、
ていた。
る必要数を大幅に上回る数量の郵券を購入し
しかし、当所においては、
<b>ふめる。</b>
予定数量に応じて適切な購入
厳格な管理が求められること
郵券については、
括購入すべきところ分割して購入して
消耗品 (CD-ROM、蛍光管) の購入におい
かった。
ていたが、行政財産の使用許可を受けていな
当事務所の一部を教育関係団体に使用させ

再発防止のため、出勤後ただちに出勤簿に捺印す ることを教職員に確認・徹底するとともに、管理職	埼玉県立学校職員服務規程第7条第1項に よると「職員は、校長の定める執務開始時刻	平成18年3月3日 (第1752号)	熊谷西高校	
(主味を引率する山東は廃止したので、国政事業に対して後援会会計から旅費を支出することはなくなった。	ー 人 に ブップ・ペエル・コギ した 教員 4 石の 所員 を、 後援会会計から 支出していた。			
平成18年3月20日より、国際交流事業推進校とし		平成18年3月3日 (第1752号)	熊谷高校	
	いなかった。			
	において、複数の教職員が半月以上捺印して			
	る。しかしながら、当校の出勤簿の捺印状況			
	捺印しなければならない。」と規定されてい			
よう周知徹底した。	までに出勤し、ただちに所定の出勤簿に自ら			
教職員に配布し、出勤後ただちに出勤簿に捺印する	よると「職員は、校長の定める執務開始時刻			
再発防止のため、埼玉県立学校職員服務規程を全	埼玉県立学校職員服務規程第7条第1項に	平成18年3月3日 (第1752号)	小鹿野高校	
った。	会計から支出していた。			
対して後援会会計から旅費を支出することはなくな	へ生徒引率した教員各2名の旅費を、後援会			
て生徒を引率する出張は廃止したので、当該事業に	校としてオーストラリアとニュージーランド			
平成18年3月20日より、国際交流事業推進校とし	平成16年度及び17年度に国際交流事業推進	平成18年3月3日 (第1752号)	大宮南高校	
全員に配布した。				
し、同時に担当が作成したリーフレットを、職員	なかった。			
議で教員に物品管理上の使用者責任等を周知徹底	3 重要物品 (体操競技用「ゆか」)が存在し			
動報告書を提出した。再発防止策として、職員会	おらず、電気料も県費負担となっていた。			
3 物品管理課長あて顛末書を提出し、重要物品異	が、行政財産の使用許可手続きが執られて			
で対応することとした。	2 後援会等による冷房設備を設置している			
財第860号財務課長通知)により、寄付受け入れ	月以上捺印していなかった。			
る冷房装置について」(平成18年4月6日付け教	の捺印状況において、複数の教職員が1か			
冷房設備については、「県費以外で設置されてい	されている。しかしながら、当校の出勤簿			
2 県費以外で設置され所定の手続きを経ていない	に自ら捺印しなければならない。」と規定			
するよう周知徹底した。	時刻までに出勤し、ただちに所定の出勤簿			
全教職員に配付し、出勤後ただちに出勤簿に捺印	によると「職員は、校長の定める執務開始			
1 再発防止のため、埼玉県立学校職員服務規程を	1 埼玉県立学校職員服務規程第7条第1項	平成18年3月3日 (第1752号)	大宮東高校	教育局
講じた措置	監査の結果	監査結果の公表年月日(県報の号数)	象 機 関	揪

支給状況の定期的な確認を徹底するとともに、決裁	遅れているものがあった。			
再発防止のため、旅行後の速やかな復命と、	平成17年度において、旅費の支給が大幅に	平成18年3月3日 (第1752号)	大宮ろう学校	
強化した。	手続を執っていなかった。			
等の点検をするとともに、処分時のチェック体制を	規則で規定する物品の不用決定や廃棄伺いの			
処分方法等について周知徹底し、定期的に重要物品	装置等の高額備品を廃棄するに当たり、財務			
再発防止のため、教職員に物品の適正な管理及び	電子計算システム一式及び IL 装置ブース	平成18年3月3日 (第1752号)	深谷商業高校	
ても適正に行うよう指導した。	休暇取得後大幅に遅れて提出されていた。			
、校長に願い出るよう指導し、願い出の変更につい	2 夏季休業中に取得した特別休暇の届出が、			
県学校職員服務規程第10条第2項の規定に基づき	なかった。			
2 再発防止のため、特別休暇を受ける職員は埼玉	年度末における生徒毎の精算が行われてい			
れぞれの食数に応じた精算処理を行うこととした。	受けていない生徒と同額であった。更に、			
給食費の精算については平成17年度から生徒そ	徴収額が、夜食費補助を受けている生徒と			
い完了した。	た、平成16年度における1食あたりの負担			
かったものについて、補助相当額の追加徴収を行	基づく会計処理が行われていなかった。ま			
平成16年度の処理については補助対象にならな	課程教科書学習書給与費補助実施要領」に			
に補助相当額の給食費を返金する方法に改めた。	課程教科書給与費及び夜食費並びに通信制			
額を給食費に含めて徴収し、年度末に補助対象者	(夜食) 会計において、「高等学校定時制			
1 平成18年度からは実施要領に基づき、補助相当	1 定時制課程の生徒を対象とする給食費	平成18年3月3日 (第1752号)	飯能高校	
	を作成することなく処理業者に委託していた。			
	しかし、廃棄物の処理にあたって、契約書			
周知徹底を図った。	いとされている。			
の廃棄処分の方法])等を十分確認するよう、職員に	基づき契約書を作成して行わなければならな			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び通知(「物品	廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令に			
、 再発防止のため、物品の廃棄処分にあたっては	産業廃棄物の処理を委託するにあたっては、	平成18年3月3日 (第1752号)	坂戸高校	
	いなかった。			
	において、複数の教職員が7日以上捺印して			
	る。しかしながら、当校の出勤簿の捺印状況			
	捺印しなければならない。」と規定されてい			
による押印状況のチェック体制を強化した。	までに出勤し、ただちに所定の出勤簿に自ら			教育局
講じた措置	監査の結果	監査結果の公表年月日(県報の号数)	樂機	漜

	マバボ 1 米のひんさくさ			
	らの見積書の徴取が必要であったにもかか			
	2 湯沸器取付工事において、複数の相手か			
のチェック体制を強化した。	していなかった。			
(   埼玉県財務規則等の再確認を行うとともに、決裁時	作成されていなかった。また、請書も徴取			
再発防止のため、契約事務の執行にあたっては、	1 屋根修繕工事において、予定価格調書が	平成18年3月3日 (第1752号)	宮代養護学校	
	が行われていなかった。			
AT	への記載がなく、当該調整についての決裁			
	しているが、「週休日等の割振り変更簿」			
	時間とし、相当する翌日の勤務時間を調整			
70	時間を生徒指導用務に従事したとして勤務			
当該調整について決裁を行うよう徹底した。	2 教員が舎監として宿直した場合、その1			
場合は、「週休日等の割振り変更簿」に記載し、	D であった。			
2 教員が舎監として宿泊し、生徒指導に従事した	を徴したのは契約者Aと選定されていない			
適正になされるよう事務処理を行うこととした。	者を選定し決定していたが、実際に見積書			
制の強化を図るなどの見直しを行い、契約事務が	たって、見積書を徴するA、B及びCの3			
1 再発防止のため、契約事務についてチェック体	1 「樹木管理業務」の委託契約の締結にあ	平成18年3月3日 (第1752号)	熊谷養護学校	
	いた。			
	書を作成することなく処理業者に委託して			
1	しかし、廃棄物の処理にあたって、契約			
	ばならないとされている。			
	行令に基づき契約書を作成して行わなけれ			
員に周知徹底を図った。	は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施			
品の廃棄処分の方法」)等を十分確認するよう、職	2 産業廃棄物の処理を委託するにあたって			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び通知(「物	ていなかった。			
2 再発防止のため、物品の廃棄処分にあたっては、	の具体的内容や実施回数が明確に記載され			
書にすることを徹底した。	2件において、契約の目的である保守点検			
] 細に見直しを行い、現状にあった契約書及び仕様	「温水ヒーター保守点検委託契約」の契約		養護学校	
1 再発防止のため、契約書及び仕様書の内容を詳	1 「教育用コンピュータ賃貸借契約」及び	平成18年3月3日 (第1752号)	川島ひばりが丘	教育局
講じた措置	監査の結果	監査結果の公表年月日(県報の号数)	象 機 関	汝

## 3 監査の結果「意見」とした事項(1)対象機関への意見

負担額認定資料の未提出者に対するこまめな替促と、市町村に対する課税資料の提供依頼を早めに行うなどして、早期認定に努めることとした。 滞納繰越分の整理については、電話・文書・臨宅等を組織的・計画的に行い、納入交渉の強化に努めることとした。	児童福祉負担金については、負担額の早期認定による収入確保に留意するとともに、滞納繰越分の整理について一層努力する必要がある。	平成18年6月30日(第1786号)	中央児童相談所南児童相談所所児童相談所所決児童相談所越谷児童相談所	留社部
ンフレットを配布したり、県内小・中学校に電子メールで利用案内を送付し周知を図るなど、入場者数増加のための PR を積極的に行った。	約46,000人前後で横ばい若しくは漸減傾向にある。環境学習の役割を担う県内唯一の展示館として、県民などへの PR を積極的に行うなど、入館者数を増加させるための努力が必要である。		\times \tau \tau \tau \tau \tau \tau \tau \tau	
監査終了後、近隣市町の施設やイベント会場でパ	法施行令で定める標準手数料額等の改定を国へ要望するなど、所要の措置が必要である。 当センター展示館の入館者数は、ここ数年	平成18年 6 月30日(第1786号)	環境科学国際セン	環境部
民の理解を得られないと考える。したがって、11月に開催される都道府県旅券事務主管課長会議において、要望事項として都道府県標準額の改定を強く要望していくこととした。	り、不足額は県の一般財源から支出されている。 今後においては、旅券発給事務に従事する 職員や事務費の削減に努めるとともに、旅券			
に要する予算の効率的な執行と経費削減には、最大限の努力を行うこととした。 また、都道府県の手数料は、旅券法施行令第2条に定める額を標準として定めることになっているが、 現実には全都道府県が施行令で定める額を手数料としており、当県のみが手数料を値上げすることは県	ている。これを受けて旅券法施行令で標準手数料額が、また県条例で納付する手数料額が 定められ、県証紙により納付されている。 しかし、平成16年度における旅券の発給に 要する経費の総額は、証紙により納付される 手数料の総額を大幅に上回っている状況にあ			
県民の渡航の安全確保と海外事業活動の円滑な推進に資するため、誤りのない旅券の発給、不正取得防止、国際テロ・旅券犯罪防止に向けたIC旅券の円滑な運営を行っているところであるが、その事務	旅券発給事務は法定受託事務として都道府 県が処理しなければならないとされ、その事 務に要する経費については、旅券法により都 道府県が旅券申請者から徴収することとされ	平成18年3月3日(第1752号)	部 パスポートセンタ	総合政策部
講じた措置	監査の結果	監査結果の公表年月日(県報の号数)	樂機	漜

に対する指導の充実強化に向けて、2の向上に努めるとともに実施体制の図るべきである。図るべきである。 図るべきである。 図るべきである。 「障害者への訪問療育等を社会福祉法 教記する「障害児(者)地域療育等 業」において、教記科の概算交付額 大きって精算報告書の内容が規定されていな のたって精算報告書としている事例が このため、教記事業の目的である支 に かっている。 委託契約書の見直しを ごさいている。 委託契約書の見直しを ごさいて、計画件数と実績音等を社会福祉法人 に 音者への訪問療育等を社会福祉法人 に である。 この様な乖離が生じた 計画変更の手続きを行わせるべきで と 要記料の概算交付額を単価×計画件 数比対策を単の表記を 一次さんとの表記契約書においては、 の算定方法と事業実績報告書の内容が 、	仮夫地性数4とか、相昇音	平成18年3月3日(第1752号)	比企福祉保健総合センター  株父福祉保健総合  センター	
に対する指導の充実強化に向けて、2の向上に努めるとともに実施体制の図るべきである。 図るべきである。 障害者への訪問療育等を社会福祉法、奏託する「障害児(者)地域療育等 (業」において、委託料の概算交付額 (実績報告書の内容が規定されていな。しかし、 2のため、委託事業の目的である支 にもって精算報告書としている事例が このため、委託事業の目的である支 がなっている。委託契約書の見直しを さっている。である。 (書者への訪問療育等を社会福祉法人 (書者への訪問療育等を社会福祉法人 (書者への訪問療育等を社会福祉法人 (書者への訪問療育等を社会福祉法人 (書者への訪問療育等を社会福祉法人 (書者への訪問療育等を社会福祉法人 (書者への訪問療育等を社会福祉法人 (書者への訪問療育等を社会福祉法人 (書者への訪問療育等を社会福祉法人 (書者への訪問療育等を社会福祉法人 (書者への訪問療育等を社会福祉法人 (書者への訪問療育等を社会福祉法人 (書者への訪問療育等を社会福祉法人 (書者への訪問療育等を社会福祉法人 (書者への訪問療育等を社会福祉法人 (書者への訪問療育等を社会福祉法人 (書者へのおの表別を実績中数に大き でいる。この様な乖離が生じた 計画変更の手続きを行わせるべきで 計画変更の手続きを行わせるべきで と 委託料の概算交付額を単価×計画件 しているが、委託契約書においては、 り算定方法と事業実績報告書の内容が にていないため、給与費や事務費等の			比企福祉保健総合センター 秩父福祉保健総合センター	
に対する指導の充実強化に向けて、2の向上に努めるとともに実施体制の図るべきである。 図るべきである。 図るべきである。 「解書者への訪問療育等を社会福祉法 、奏託する「障害児(者)地域療育等 業」において、委託料の概算交付額 、統与費や事務費等の経費の積み上 たって精算報告書としている。しかし、 とって精算報告書としている事例が このため、委託事業の目的である支 が生である。 「管書への訪問療育等を社会福祉法人」 「音者への訪問療育等を社会福祉法人」 「音者への訪問療育等を社会福祉法人」 「音書への訪問療育等を社会福祉法人」 「音書児(者)地域療育等支援 かさている。この様な乖離が生じた。計画変更の手続きを行わせるべきでと 計画変更の手続きを行わせるべきでと ・ 表託料の概算交付額を単価×計画件 数に方法と事業実績報告書の内容が			比企福祉保健総合 センター 秩父福祉保健総合 センター	
に対する指導の充実強化に向けて、2の向上に努めるとともに実施体制の図るべきである。 図るべきである。 環書者への訪問療育等を社会福祉法、委託する「障害児(者)地域療育等 (業」において、委託料の概算交付額 (文計画件数で算出している。しかし、 総書においては、委託額の算定方法 実績報告書の内容が規定されていな このため、委託事業の目的である支 近件数などが、精算書に反映されない なっている。委託契約書の見直しを できる「障害児(者)地域療育等を社会福祉法人 にする「障害児(者)地域療育等を社会福祉法人 にする「障害児(者)地域療育等を社会福祉法人 にする「障害児(者)地域療育等を社会福祉法人 まいて、計画件数と実績件数に大き 対生じている。この様な乖離が生じた 計画変更の手続きを行わせるべきで 明 委託料の概算交付額を単価×計画件 要記述の方式、委託契約書においては、			比企福祉保健総合センター 秩父福祉保健総合 センター	
に対する指導の充実強化に向けて、2の向上に努めるとともに実施体制の図るべきである。 図るべきである。 図るべきである。 図るべきである。 「解書者への訪問療育等を社会福祉法 、委託する「障害児(者)地域療育等 業」において、委託料の概算交付額 、統与費や事務費等の経費の積み上 たって精算報告書としている。しかし、 とって精算報告書としている事例が このため、委託事業の目的である支 に書者への訪問療育等を社会福祉法人 に書者への訪問療育等を社会福祉法人 にする「障害児(者)地域療育等支援 かだする「障害児(者)地域療育等支援 がきである。 にする「障害児(者)地域療育等支援 がきである。この様な乖離が生じた 計画変更の手続きを行わせるべきで と 委託料の概算交付額を単価×計画件 要託料の概算交付額を単価×計画件	型件数などが、相乗音法なっている。委託契注をである。 (書者への訪問療育等にする「障害児(者)にする「障害児(者)だする「障害児を別した数とが生じている。この様計画変更の手続きを計画変更の手続きを		比企福祉保健総合 センター 秩父福祉保健総合 センター	
に対する指導の充実強化に向けて、2の向上に努めるとともに実施体制の図るべきである。図るべきである。図るべきである。図るべきである。図るべきである。図さべきである。『障害者への訪問療育等を社会福祉法奏記事においては、委託料の概算交付額が、計画作数で算出している。しかし、2のため、委託事業の目的である支に作数などが、精算書に反映されないなっている。委託契約書の見直しを2をである。『書者への訪問療育等を社会福祉法人にする「障害児(者)地域療育等支援がきている。この様な乖離が生じた計画変更の手続きを行わせるべきでと明知	21十級などか、相卑音 なっている。委託契 さである。 (害者への訪問療育等 (する「障害児(者) おいて、計画件数と が生じている。この様 計画変更の手続きを		比企福祉保健総合 センター 秩父福祉保健総合 センター	
に対する指導の充実強化に向けて、2の向上に努めるとともに実施体制の図るべきである。 図るべきである。 図るべきである。 障害者への訪問療育等を社会福祉法、委託する「障害児(者)地域療育等 業」において、委託料の概算交付額 (来)においては、委託料の概算交付額 (実績報告書の内容が規定されていな )、給与費や事務費等の経費の積み上さって精算報告書としている事例がこのため、委託事業の目的である支ごのため、委託事業の目的である支近件数などが、精算書に反映されない。なっている。委託契約書の見直しをできである。 (害者への訪問療育等を社会福祉法人できている「障害児(者)地域療育等支援かまないて、計画件数と実績件数に大き式をごないて、計画件数と実績件数に大き式をごとの手続きを行わせるべきでと	2叶数なとか、相卑音 なっている。委託契 さである。 (害者への訪問療育等 (する「障害児(者) (おいて、計画件数と が生じている。この様 計画変更の手続きを		比企福祉保健総合 センター 秩父福祉保健総合	
の選組 のにに出来 を行いに出来 を行いでには を行りを の間体数のののでは を行りを ののののでは を行りを ののののでは を行りを のののののでは を行りののののでは を行りののののでは を行りののののでは を行りなりののののでは をないとして ないとした ないるのののでは をないとした ないるのののでは をないとした ないるののでは ないるののでは ないとないと ないるののでは ないとないと ないるののでは ないとないと ないるのでは ないとないと ないるのでは ないるのでは ないとないと ないるのでは ないるのでは ないとないと ないるのでは ないると ないるのでは ないるのでは ないるのでは ないると ないる ないると ないる ないると ないると ないると ないる ないる ないる ないる ないる ないる ないる ないる			比企福祉保健総合 センター 秩父福祉保健総合 センター	
のでは、 のにに、 のに、 のに、 のに、 のに、 のに、 のに、 の			比企福祉保健総合センター 秩父福祉保健総合	
(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)			比企福祉保健総合センター	
のでは、 のでは、 のに、 のに、 のに、 のに、 のに、 のに、 のに、 のに	仮夫     放		比企福祉保健総合	
のででできる。 のでは、このでには、、ののでは、のでは、のでは、のののでは、ののでは、ののでは、ののでは、	坂夫旭十級などが、相昇音 内容となっている。委託契 行うべきである。			
のででできる。 のでは、このでには、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 のののののでは、 ののののでは、 のののののでは、 ののののののののでは、 のののののののでは、 のののののののののでは、 のののののののののののでは、 のののののののののののでは、 ののののののののののののでは、 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	仮夫地計数などが、相昇音 内容となっている。委託契			
会には、 2 では、 2 では、 2 では、 2 では、 2 をに実施体制の				
ででできる。 をにまたに向けて、とのでは、 等を社会語社法 等を社会語学 がの概算效付額 にいる。しかし、 にないたされていないないない。 の経費の構み上 している事のが の日的である女	中校性   大学力学仕録			
強化に向けて、2 をに実施体制の 等を社会額社法 等を社会額社法 がの姨質及付額 ている。しかし、 活額の算定方法 規定されていな の総費の積み上 している事例が	ある。このため、委託事業の			
強化に向けて、 2 もに実施体制の 等を社会福祉法 等を社会福祉法 等を社会福祉法 等を社会福祉法 がの概算交付額 ている。しかし、 託額の算定方法 規定されていな の経費の積み上	げ額をもって精算報告書と			
強化に向けて、2 もに実施体制の 等を社会福祉法 等を社会福祉法 等を社会福祉法 がの頻算交付額 べいる。しかし、 売額の算定方法 規定されていな	いため、給与費や事務費等(			
強化に向けて、 2 もに実施体制の 等を社会福祉法 等を社会福祉法 等を社会福祉法 等を社会福祉法 が必 規算交付額 ている。しかし、 計額の算定方法	と事業実績報告書の内容が			
強化に向けて、 2 もに実施体制の 等を社会福祉法 等を社会福祉法 者) 地域療育等 料の概算交付額 ている。しかし、	委託契約書においては、委託			
強化に向けて、 2 もに実施体制の きた会福祉法 等を社会福祉法 等を社会福祉法 対の概算交付額	を単価×計画件数で算出し			
強化に向けて、 2 もに実施体制の もに実施体制の 等を社会福祉法 者) 地域療育等	支援事業」において、委託			
強化に向けて、 2 もに実施体制の 等を社会福祉法	人等へ委託する「障害児(			
<b>強化に向けて、</b> 2 <b>もに実施体制の</b>	2 在宅障害者への訪問療育			
強化に向けて、 2 もに実施体制の	強化を図るべきである。			
2 事業実績報告書に、新たな様式を加えるこ	実施率の向上に努めるとと			
9	事業者に対する指導の充実!			
け 1パーヤント程度となっている を重備するアととして	施率は、1パーセント程度			
これらの事業者に対する実地指導の年間実 年度に介護保険担当職員を2名増員し、実地指導	これらの事業者に対する実		合センター	
内における介護保険事業者数が多く、 1 事業者に対する指導の強化を図るため、平成18	1 管内における介護保険事	平成18年 3 月 3 日(第1752号)	入間東福祉保健総	保健医療部
監査の結果 講じた措置	査の	監査結果の公表年月日(県報の	機関	対象

削減した。 2 平成18年度から、財団法人埼玉県産業文化セン	後継者育成事業への補助という観点から は、継続的な事業に対するものを主とすべ			
への出席経費の補助は、平成16年度と比較し、42%	ている。			
補助事業者に指導を行い、平成17年度の全国大会	会への出席経費として多額の補助がなされ			
1 若手後継者に対する研修事業の充実を図るよ	1 若手後継者等育成事業において、全国大	平成17年10月7日(第1712号)	産業労働政策課	産業労働部
	図るべきである。			
	率の向上に努めるとともに実施体制の強化を			
	業者に対する指導の充実強化に向けて、実施			
満することとした。	は、一部を除き、1割以下となっている。事			
度に介護保険担当職員を1名増員し、実地指導を実	れらの事業者に対する実地指導の年間実施率		合センター	
事業者に対する指導の強化を図るため、平成18年	管内における介護保険事業者数が多く、こ	平成18年3月3日 (第1752号)	埼葛南福祉保健総	
	<b>歩</b> %。			I
	場合は、計画変更の手続きを行わせるべきで			
	な乖離が生じている。この様な乖離が生じた		合センター	
式を追加した。	事業」において、計画件数と実績件数に大き		埼葛南福祉保健総	
から福祉保健総合センターあてに報告するよう、	等へ委託する「障害児(者) 地域療育等支援		合センター	
契約書の中に、	在宅障害者への訪問療育等を社会福祉法人	平成18年3月3日 (第1752号)	北埼玉福祉保健総	
	る。委託契約書の見直しを行うべきである。			
	どが、精算書に反映されない内容となってい			
	ため、委託事業の目的である支援実施件数な			
	上げ額をもって実績報告書としている。この			
	いないため、給与費や事務費等の経費の積み			
	においては、委託額の算定方法が規定されて			
	価×計画件数で算出しているが、委託契約書			
きるようにした。	事業」において、委託料の概算交付額を、単			
り、「単価×事業実績回数」による算出額を明示で	等へ委託する「障害児(者)地域療育等支援		センター	
事業実績報告書に、	在宅障害者への訪問療育等を社会福祉法人	平成18年3月3日 (第1752号)	児玉福祉保健総合	
	きである。			
	となっている。委託契約書の見直しを行うべ			
	実施件数などが、精算書に反映されない内容			保健医療部
	監査の結果	監査結果の公表年月日(県報の号数)	機関	対象

滅に向け、業務分担の見直しを行った。また、所長	特定の職員、担当グループに著しく偏って発		事務所	
時間外勤務の偏りの是正及び全体の時間外勤務縮	平成16年度及び17年度の時間外勤務命令が	平成18年3月3日 (第1752号)	さいたま県土整備	県土整備部
	活用策の検討が必要である。			
	関係機関への積極的な情報提供を行うなど、			
	が実状である。農業分野以外での活用に向け、			
	ついては、主に農業分野で活用されているの			
	しかし、長期間蓄積された貴重なデータに			
	の基礎資料としている。			
	施し、農業用水の合理的利用や水質保全対策			
	7項目、水温及び気温)の調査を継続的に実			
	業用水路32地点における水質等 (BOD など			
	ける農業用水の流量をはじめ、主要な18の農			
的な活用がなされるよう取り組むこととした。	年以降、県内の取水堰・ポンプ場98地点にお		1 1	
今後、県ホームページとリンクさせるなど、多角	農業基盤整備基礎調査においては、昭和51	平成18年6月30日 (第1786号)	農村整備計画セン	農林部
	う検討されたい。			
	は、契約書に、こうした規定を明記するよ			
	することが必要であることなどから、今後			
	等が生じた場合における管理責任を明確に			
	貸付の対象となる重要物品の滅失、棄損			
	ていない。			
	の物品が貸付の対象となるのかが明記され			
	で締結している管理業務委託契約には、ど			
	いるが、財団法人産業文化センターとの間			
	等の重要物品をソニックシティに設置して			
	2 県は、利用者に貸し付けるためのピアノ			
の種類、数量について財団に通知した。	るべきである。			
し、責任の所在を明確にするとともに、供用備品	の上限を設けるなど、適切な事務執行を図			
この協定において、供用備品の管理責任を明記	っての全国大会への出席は、補助対象経費			
営について、県と協定を締結した。	助を行うことには疑問がある。補助金を使			
ターが指定管理者となっており、施設等の管理運	きであり、一度限りの大会参加に多額の補			
講じた措置	監査の結果	監査結果の公表年月日(県報の号数)	機関	対 象
,				

	する必要がある。			
	よう十分注意するとともに、事務管理を徹底			
いる。	今後は、同様の事案が発生することのない			
るチェックを徹底し、正確な源泉徴収事務を行って	本税は本人負担で納付されている。			
また、所得税の算定に当たっては、複数職員によ	れる非常勤講師等の給与にかかるものであり、			
めた。	初任者研修代替のため市町村立学校へ派遣さ			
いる場合は、名寄せをして所得税を算出するよう改	及び延滞税を県費から支出していた。これは、			
所得税の源泉徴収にあたり、任用の事例が複数出て	額に誤りがあったことに伴い、不納付加算税		北部教育事務所	
所得税法の趣旨を踏まえ、非常勤講師等にかかる	非常勤講師にかかる所得税の源泉徴収申告	平成18年3月3日(第1752号)	西部教育事務所	教育局
	ていたが、見直しを行うべきである。			
	え、入札保証金を免除するとの入札公告をし			
	を「規模をほぼ同じくするもの」としてとら			
	事において、1億円以上の工事を履行した者			
	しかし、設計金額が3億余円の施設整備工			
て執行することとした。	の」とされている。		所	
併せて入札公告の見直しを行い、適切な表現に改め	2年の間に数回以上すべて誠実に履行したも		越谷県土整備事務	
て総合的に入札保証金の滅免を判断することとし、	「種類及び規模をほぼ同じくする契約を過去		事務所	
今後は、工事等の種類及び規模の類似性を考慮	入札保証金の免除については、財務規則で	平成18年3月3日 (第1752号)	さいたま県土整備	
勤務の縮減を図っている。				
行ほうれんそうでスピードアップ」により、時間外				
その他にも、3Sチャレンジで取り組んでいる「3				
間外勤務ゼロの取り組みを行っている。				
また、グループによっては、自発的に、原則、時				
スト意識の徹底を図った。	時間外勤務の縮減に努める必要がある。			
事前命令の徹底、時間も貴重な資源であるというコ	各職員及びグループの業務量等を見直し、			
と各部が話し合いを持ち、職員の意識改革を促進し、	令されている状況が認められた。			
滅に向け、業務分担の見直しを行った。また、所長	特定の職員、担当グループに著しく偏って発		所	
時間外勤務の偏りの是正及び全体の時間外勤務縮	平成16年度及び17年度の時間外勤務命令が	平成18年3月3日 (第1752号)	飯能県土整備事務	
スト意識の徹底を図った。	時間外勤務の縮減に努める必要がある。			
事前命令の徹底、時間も貴重な資源であるというコ	各職員及びグループの業務量等を見直し、			
と各部が話し合いを持ち、職員の意識改革を促進	令されている状況が認められた。			県土整備部
講じた措置	監査の結果	監査結果の公表年月日(県報の号数)	機	<u>×</u>

早規納人を促すため、管促状交付即の納人依頼通知を1回から2回へ増やした。また、滞納者に対しては、「授業料滞納者に対する処置の基準」に基づき、担任が把握している家庭事情を参考にしながら、在学保証人への通告、滞納者への家庭訪問等を徹底するとともに、年度末までの完納が困難な者に対しては、校長との面接を求めた。 さらに、新たに学校全体で催告事務に取り組む体制づくりを進めるとともに、「授業料滞納者に対す	高等字校使用料(授業料)の滞納者への催告に当たり、在学保証人への通告、滞納者への家庭訪問、納入誓約書の徴取等が不十分なものがあった。今後は、滞納者の状況に応じて、積極的に授業料の徴収に取り組む必要がある。	平成18年3月3日 (第1752号)	入 間 号 交	
宿泊施設使用料の設定については、体育館等の施設使用料も含めて積算した結果として、現行の使用料となっている。 大記の意見を受け、改めて宿泊施設使用料の積算について検討した結果、利用者の公平性を確保する観点からも、現行の料金設定が適正であるとの結論となった。	当施設は宿泊施設を備え、また、駅に近いという立地条件の良さから、日帰りの利用者も多い。 体育館の利用については条例で有料とされているが、宿泊者については無料である。今後は、利用に当たっての公平性を確保する上からも、宿泊者の施設利用の有料化について検討が必要である。	平成18年3月3日 (第1752号)	加須げんきプラザ	
県立博物館施設の再編にあわせて、人館者を無料とする取り扱いの見直しを行い、平成18年度に新たに定めた埼玉県立嵐山史跡の博物館観覧料減免基準を新たに設けた。この基準により、観覧料の減免適用者の範囲を限定した。 (平成18年4月1日 嵐山史跡の博物館に改組)	当館は条例に基つき、人館料として、一般50円、学生・生徒30円を徴収しているが、平成16年度の入館者数約5万6千人のうち約2万4千人(42.9%)が免除されていた。その理由の1つとして、条例及び管理規則に定められている特別条項に基づき、公民館等の社会教育機関が研修等の一環として入館する場合など、幅広く館長が免除していることがあげられる。このように多くの入館者を無料とする取り扱いを、館長定めで行うことは適当でない。見直しを行うべきである。	平成18年3月3日 (第1752号)	茂 火 資料 部	(年)
は、 こ は、 日 は 日 は と こ に 日 日 こ こ 日 日 こ こ 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		田 四 1 1 2 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日	- 1 '	<u> </u>

	員には、学校職員の特殊勤務手当に関する条例第9条第1項第4号該当として、教員特殊			
廃止した。	援会から手当が支給されている。これらの教			
平成18年度より後援会からの部活動指導手当は、	週休日に部活動を指導した教員に対し、後	平成18年3月3日 (第1752号)	熊谷商業高校	
	\$11°			
	規程に抵触する虞もあることから、適当では			
	受領することは、埼玉県教育委員会職員倫理			
翌日、職員に周知徹底した。	教職員のみを対象とするこの種の祝い金を			
し、PTA会計から祝い金を支給する規程を廃止した。	の支給を受けていた。			
平成18年1月18日の PTA 理事会に諮り細則を改定	教職員の慶事に際し、PTA 会計から祝い金	平成18年3月3日 (第1752号)	北本高校	
とした。				
に、継続的に安全確保の徹底を職員に周知するこ				
な回覧決裁等、校内の連絡体制の強化を図るととも				
また、再発防止のため、点検結果報告書の速やか	おいめる。			
ちに修繕又は調整を行うこととした。	かった。生徒の安全面からも早急に改善すべ			
説明を受け、早急に改善すべき箇所についてはただ	明しているにもかかわらず補修を行っていな			
消防設備点検報告の内容について、点検業者から	防火設備点検で防火シャッターの不良が判	平成18年3月3日 (第1752号)	春日部東高校	
	要である。			
	託児室開設の必要性も含めて、見直しが必			
とした。	ない日もある。			
員を雇用する日を学期毎(年3回)に決定すること	にもかかわらず、託児を必要とする幼児がい			
また、託児希望者の託児を利用する日及び臨時職	キャンセル等により、託児室を開設している			
は、託児室を開設しないよう徹底をした。	現在は2名となっている。このため、当日の			
利用状況を正確に把握して、託児を必要としない日	かし、近年、託児を希望する生徒数が減少し、			
平成18年4月から運用面の見直しを行い、託児室	時職員を雇用して託児室を設置している。し			
託児制度の存在意義は大きく、必要性も高い。	ち、託児を希望する生徒に対応するため、臨			
様々な学習条件下で学ぶ通信制の学生に	日曜日のスクーリングに参加する生徒のう	平成18年3月3日 (第1752号)	大宮中央高校	
月から行う予定である。				
なお、新体制による催告等については平成18年9				
定を進めている。				教育局
講じた措	監査の結果	監査結果の公表年月日(県報の号数)	機関	対象

	教育長通知の趣旨をふまえると、後援会会計から受け入れることは適当でない。 学校業務を補助するため、PTA会費で職員を雇用している。 しかし、「父母負担の軽減について」(昭和61年12月15日付け教財第1051号教育長通知)では、団体会計による職員の雇用は、所要経費の増加や勤務条件に係る問題を招くことも懸念されることなどから好ましくないとしている。 今後は、PTA会費による職員の雇用について、早急に見直すよう検討されたい。 防火設備点検で防火シャッターの不良等が判明しているにもかかわらず補修を行っていなかった。生徒の安全面からも早急に改善すべきである。	平成18年3月3日 (第1752号)平成18年3月3日 (第1752号)	秋父農工科学高校	
している。 している。 と、	教育長通知の趣旨をふまえるから受け入れることは適当でな学校業務を補助するため、I を雇用している。しかし、「父母負担の軽減和61年12月15日付け教財第10知)では、団体会計による職類経費の増加や勤務条件に係とも懸念されることなどからしている。今後は、PTA 会費による職で、早急に見直すよう検討されて、早急に見直すよう検討されるかった。生徒の安全面からずなかった。生徒の安全面からず		校	
している。 に	教育長通知の趣旨をふまえる。から受け入れることは適当では学校業務を補助するため、I を雇用している。 しかし、「父母負担の軽減和61年12月15日付け教財第10知)では、団体会計による職要経費の増加や勤務条件に係とも懸念されることなどからりしている。 今後は、PTA 会費による職で、早急に見直すよう検討されて、早急に見直すよう検討されているにもかかわらず		校	
している。 に 類については、 と、後援会会計 ない。 PTA 会費で職員 PTA 会費で職員 051号教育 長通 場の雇用は、所 る問題を招くこ 好ましくないと 知ましくないと があれたい。 ターの不良等が	教育長通知の趣旨をふまえるから受け入れることは適当でな学校業務を補助するため、I を雇用している。しかし、「父母負担の軽減和61年12月15日付け教財第10知)では、団体会計による職要経費の増加や勤務条件に係とも懸念されることなどからしている。今後は、PTA 会費による職て、早急に見直すよう検討され防火設備点検で防火シャッド		·····································	
している。 している。 と、後援会会計 ない。 PTA 会費で職員 PTA 会費で職員 18 051号 教育 長通 員の雇用は、所 る問題を招くこ 好ましくないと がたい。	教育長通知の趣旨をふまえる。 から受け入れることは適当でな 学校業務を補助するため、I を雇用している。 しかし、「父母負担の軽減 和61年12月15日付け教財第10 知)では、団体会計による職 要経費の増加や勤務条件に係 とも懸念されることなどからり している。 今後は、PTA 会費による職 て、早急に見直すよう検討され			
している。 品類については、 と、後援会会計 ない。 PTA 会費で職員 以について」(昭 051号 教育 長 通 場の雇用は、所 る問題を招くこ 好ましくないと	教育長通知の趣旨をふまえるから受け入れることは適当では学校業務を補助するため、I を雇用している。 しかし、「父母負担の軽減和61年12月15日付け教財第10知)では、団体会計による職要経費の増加や勤務条件に係とも懸念されることなどからりしている。			
している。 品類については、 と、後援会会計 ない。 PTA 会費で職員 18 051号教育 長通 18 過の雇用は、所 る問題を招くこ 好ましくないと	教育長通知の趣旨をふまえるから受け入れることは適当でな学校業務を補助するため、I を雇用している。しかし、「父母負担の軽減和61年12月15日付け教財第10知)では、団体会計による職要経費の増加や勤務条件に係とも懸念されることなどからりしている。	I		
している。 品類については、 と、後援会会計 ない。 PTA 会費で職員 以について」(昭 051号教育長通 場の雇用は、所 る問題を招くこ 好ましくないと	教育長通知の趣旨をふまえるから受け入れることは適当では学校業務を補助するため、I を雇用している。しかし、「父母負担の軽減和61年12月15日付け教財第10知)では、団体会計による職要経費の増加や勤務条件に係とも懸念されることなどからり			
している。 品類については、 と、後援会会計 ない。 PTA 会費で職員 pTA 会費で職員 18 18 18 18 18	教育長通知の趣旨をふまえる。 から受け入れることは適当でな 学校業務を補助するため、I を雇用している。 しかし、「父母負担の軽減 和61年12月15日付け教財第10 知)では、団体会計による職り要経費の増加や勤務条件に係。	I		
している。 品類については、 と、後援会会計 ない。 PTA 会費で職員 成について」(昭 .051号教育長通 員の雇用は、所	教育長通知の趣旨をふまえる。から受け入れることは適当では学校業務を補助するため、I を雇用している。 しかし、「父母負担の軽減和61年12月15日付け教財第10知)では、団体会計による職			
している。 品類については、 と、後援会会計 ない。 PIA 会費で職員 扱について」(昭 051号教育長通	教育長通知の趣旨をふまえる。 から受け入れることは適当でな 学校業務を補助するため、I を雇用している。 しかし、「父母負担の軽減 和61年12月15日付け教財第10			
している。 品類については、 と、後援会会計 と、後援会会計 ない。 PTA 会費で職員 18	教育長通知の趣旨をふまえる。 から受け入れることは適当では 学校業務を補助するため、I を雇用している。 しかし、「父母負担の軽減			
している。 品類については、 と、後援会会計 と、後援会会計 ない。 PTA 会費で職員	教育長通知の趣旨をふまえる。 から受け入れることは適当では 学校業務を補助するため、I を雇用している。			
している。 品類については、 と、後援会会計 ない。 PTA 会費で職員	教育長通知の趣旨をふまえる。 から受け入れることは適当でな 学校業務を補助するため、I	- 1		
としている。としている。 は備品類については、 にると、後援会会計	教育長通知の趣旨をふまえる。 から受け入れることは適当でな			
であっていては、 としている。 な備品類については、 えると、後援会会計	教育長通知の趣旨をふまえる			
であっている。としている。な倫田挺については、				
	このように著しく高額な備品類については			
	除外するよう努めること」とし			
	れら以外の経費に充てている			
きえられるので、こ	ない経費などへの支出と考え			
犬では県費になじま	直接還元される経費、現状では県費になじま			
	の執行は、主として団体本来の用務、生徒に			
初)で、「団体会計	け教財第1051号教育長通知)、			
召和61年12月15日付	負担の軽減について」(昭和61年12月15日付			
こついては、「父母	後援会会計からの受入については、「父母			
わせて教職員全体に対して周知徹底を図った。	を受け入れていた。			
2,869千円相当額) いては、後援会会計から受け入れないこととし、あ	度に図書管理ソフト(約2,869千円相当額)			
刊相当額)及び17年 趣旨が生かされるように、著しく高額な備品類につ	タ OS の更新(約9,016千円相当額)及び17年			
6年度にコンピユー 団体会計の予算執行にあたっては、教育長通知の	後援会会計から、平成16年月	平成18年3月3日 (第1752号)	越谷総合技術高校	
	受け取るべきではない。			教育局
結果 講 じ た 措 置	た	監査結果の公表年月日(県報の号数)	機	坟옗

* 表示	2	2			
新ル北高校 平成18年3月3日 (第1752号) 平成16年度末における高等学校使用料の末 収金額が、少なからずあった。その圧縮に向 けて一層努力する必要がある。	教育局				に、継続的に安全確保の徹底を職員に周知する とした。
映能高校 平成18年3月3日(第1752号) けて一層努力する必要がある。 けて一層努力する必要がある。 けて一層努力する必要がある。 けて一層努力する必要がある。  「かみ別用しているにもかかわらず細修を行っていなかった。生徒の安全面からも早急に改善等すべきである。  ※谷高校 平成18年3月3日(第1752号) グランドを地域のスポーツ団体等の利用に供するに当たっては、県立学校体育施設開放事業実施要領に基づる、近この手続きがなされておらず、また、利用状況も把握されていなかった。関係規定に基づき、適正な事務処理と管理を行う必要がある。  「の任事発見システムの端末は、各産業務が多いの任事発見システムの端末は、各産業の自動者である。 「関係罪に利用状況にある。」 「関係罪に利用状況にある。」 「関係罪・雇用対策課) 「関係罪・雇用対策課)	茂	座北高校	月3日	平成16年度末における高等学校使用料の未加み続い、小されらずまった。その正統に向	担任と連携し、生徒との面談等を通じて家庭状況の加振に努みるとします。
仮能高校   平成18年3月3日 (第1752号)   防水設備点検で非常警報スピーカー等の不 良が判明しているにきかかわらず補修を行っ でいなかった。生徒の安全面からも早急に改 善すべきである。   グランドを地域のスポーツ団体等の利用に 供するに当たっては、県立学校体育施設開放 事業実施要領に基づく利用許可の手続を行う 必要があるが、この手続きがなされておらず、 変が動節   年成18年6月30日 (第1786号)   経 査 の 結 果   手成18年6月30日 (第1786号)   彩の国仕事発見システムの端末は、各産業 労働センターに計12台が設置されている。こ の仕事発見システム端末の利用者は、平成16 年度186件、平成17年度67件と極めて低い利 用状況にある。 同端末については、経済性や効率性の視点 から、速やかに見直しを図るべきである。 (関係課:雇用対策課)				Ü	の把握に劣めるとともに、手紙・電話・家庭制団寺の督促回数を増やした。また、必要に応じて、学校
版施高校   平成18年3月3日 (第1752号)   防火設備点検で非常警報スピーカー等の不 良が判明しているにもかかわらず補修を行っ でいなかった。生徒の安全面からも早急に改 善すべきである。   グランドを地域のスポーツ団体等の利用に 供するに当たっては、原立学校体育施設開放 事業実施要領に基づき、適正な事務処理と管理を行 の必要があるが、この手続きがなされておらず、 また、利用状況も把握されていなかった。関 係規定に基づき、適正な事務処理と管理を行 う必要がある。   監査結果の公表年月日(県報の号数)   監査の 結果 平成18年6月30日(第1786号)   労働センターに計12台が設置されている。 の仕事発見システム端末の利用者は、平成16 年度186件、平成17年度67件と極めて低い利 用状況にある。   同端末については、経済性や効率性の観点 から、速やかに見直しを図るべきである。 (関係課:雇用対策課)					長による保護者との面談等も行った。
度が判明しているにもかかわらず補修を行っていなかった。生徒の安全面からも早急に改善等すべきである。	飯	能高校		カー	総合点検後の平成18年2月9日にスピー
でいなかった。生徒の安全面からも早急に改善等すべきである。				良が判明しているにもかかわらず補修を行っ	換修理等の処置を行った。再発防止のため点検報告
探谷高校   平成18年3月3日 (第1752号)				ていなかった。生徒の安全面からも早急に改	の処置票を作成し、点検結果の確認体制を強化した
深谷高校   平成18年3月3日 (第1752号)				善すべきである。	
供するに当たっては、県立学校体育施設開放 事業実施要領に基づく利用許可の手続を行う 必要があるが、この手続きがなされておらず、 また、利用状況も把握されていなかった。関 係規定に基づき、適正な事務処理と管理を行 う必要がある。   5 必要がある。   監査 の 結 果	菜	谷高校		グランドを地域のスポーツ団体等の利用に	校内関係者で会議を持ち、県立学校体育施設開放
事業実施要領に基づく利用許可の手続を行う   必要があるが、この手続きがなされておらず、  また、利用状況も把握されていなかった。				供するに当たっては、県立学校体育施設開放	事業実施要領等関係規程の確認作業を行った。
図				事業実施要領に基づく利用許可の手続を行う	また、開放事業事務に関する研修を実施し、利用
関係部局への意見    第 局 名   監査結果の公表年月日(県報の号数)				必要があるが、この手続きがなされておらず、	手続きを確認するとともに、利用状況もチェックす
「				また、利用状況も把握されていなかった。関	るよう徹底を図った。
関係部局への意見    図					
関係部局への意見				う必要がある。	
局       名       監査結果の公表年月日(県報の号数)       監査の知は事発見システムの端末は、各産業 労働センターに計12台が設置されている。こ の仕事発見システム端末の利用者は、平成16 年度186件、平成17年度67件と極めて低い利 用状況にある。 同端末については、経済性や効率性の観点 から、速やかに見直しを図るべきである。 (関係課:雇用対策課)		<b>、</b> の意見			
平成18年6月30日 (第1786号) 彩の国仕事発見システムの端末は、各産業 労働センターに計12台が設置されている。この仕事発見システム端末の利用者は、平成16 年度186件、平成17年度67件と極めて低い利用状況にある。 同端末については、経済性や効率性の観点から、速やかに見直しを図るべきである。 (関係課:雇用対策課)				査の結	じた措
る。こ 下成16 「私16 「規 点 に 類 点	産業労働部		平成18年6月30日 (第1786号)	彩の国仕事発見システムの端末は、各産業	このシステムは、平成16年度から携帯電話でも
下成16 長い利 つ観点 意課)				労働センターに計12台が設置されている。こ	クセスできるようになり、専用端末を置く意義が薄
(い利 )観点 (東)				の仕事発見システム端末の利用者は、平成16	れているため、平成18年6月30日をもって、各産業
用状況にある。         同端末については、経済性や効率性の観点         から、速やかに見直しを図るべきである。         (関係課:雇用対策課)					労働センターでの運用を停止する。
同端末については、経済性や効率性の観点         から、速やかに見直しを図るべきである。         (関係課:雇用対策課)				用状況にある。	
から、速やかに見直しを図るべきである。 (関係課:雇用対策課)				同端末については、経済性や効率性の観点	
(関係課:雇用対策課)				から、速やかに見直しを図るべきである。	
				(関係課:雇用対策課)	

毎

週

年四万三

円

火曜日・金曜日

便

料 金 を 千 含 四 百

○四八一八二四

— | | | | (代表) | /BA 00/kenpouhome/fr\_top.htm

埼玉県報ホームページアドレス http://www.pref.saitama.lg.jp/A 01

印刷所

○四八-

—八六二—二九○一(代表)

○副部長級 (新任命職) 保健医療部参事 人 事 発行日 異 動 埼玉県立大学事務局副局長 購読料金 現 報 職 平成十八年八月一日付け 発 行 者 酒( さいたま市浦和区高砂三丁目十五番一号 埼 井 氏 忠 名

雄

さいたま市南区別所三―関東図書株式 一 会